
【クレジットカードに関する総合調査】

2020年度版 調査結果レポート

株式会社ジェーシービー

JCBでは2000年以降、毎年、消費者の皆様（JCB会員・非会員を含む）を対象としてクレジットカードの利用に関する消費活動についての実態を把握することを目的とした調査を実施してまいりました。

この度、本年実施の調査結果がまとまりましたので「クレジットカードに関する総合調査2020年度版」をご報告いたします。本資料では、クレジットカード市場（保有・利用実態）について調査を実施し、その結果をまとめております。

本資料を、消費動向を把握する一助としてご活用いただければ幸いです。

今後も、JCBは、本調査を通して、多様化する個人消費市場に対応し、サービスの拡充に取り組んでまいります。

目次

I. 調査設計	3
II. 結果の概要	4
1. クレジットカード保有率	6
2. クレジットカード保有・携帯枚数	7
3. クレジットカード利用頻度	8
4. クレジットカード利用金額	9
5. 保有クレジットカードの利用理由	10
6. クレジットカード利用業種	12
7. 支払いの際のクレジットカード利用割合	15
8. 月平均生活費とクレジットカード利用額	17
9. 月平均生活費とクレジットカードの保有状況	18
10. 電子マネーの利用状況	19
11. デビットカードの利用状況	20
12. スマホ決済の利用状況	21
13. キャッシュレスの利用状況	22
14. 政府の「キャッシュレス・ポイント還元事業」後のキャッシュレスの利用増加	23

I. 調査設計

- 調査時期 : 2020年 9月
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査地域 : 全国
- 調査対象者 : 3,500人(20代から60代の男女、学生を含む)
※登録型モニターへの依頼・アンケート回答任意

当報告書における表示内容と注意点

当報告書では、本年度(2020年度)の調査結果を中心に、2016年度~2019年度との比較を含めて作成しております。本調査において選択肢の表示順序による回答への影響を除くことを目的に、設問によって表示順に対してランダムイズ制御をかけた質問方法を採用しております。

<回収サンプル数>

		20代	30代	40代	50代	60代	小計	全体		
全体	男性	331	383	323	386	317	1740	3500	全体	3500
	女性	322	378	322	396	342	1760			
北海道	男性	27	29	27	34	27	144	300	北海道	300
	女性	27	31	29	38	31	156			
東北	男性	14	14	15	18	14	75	150	東北	150
	女性	13	14	15	18	15	75			
北関東	男性	14	16	14	18	14	76	150	首都圏	1050
	女性	13	15	14	18	14	74			
首都圏	男性	92	111	85	93	79	460	900	甲信越・北陸	150
	女性	84	103	79	92	82	440			
甲信越・北陸	男性	13	16	14	18	14	75	150	東海圏	450
	女性	13	15	14	18	15	75			
愛知	男性	30	37	28	31	27	153	300	近畿圏	650
	女性	28	34	26	31	28	147			
東海 その他	男性	14	16	14	17	14	75	150	中国・四国	300
	女性	13	16	14	17	15	75			
京都・大阪 ・兵庫	男性	46	55	43	53	47	244	500	九州圏	450
	女性	47	57	45	56	51	256			
近畿 その他	男性	13	15	14	17	14	73	150		
	女性	14	16	14	18	15	77			
中国	男性	13	15	14	18	14	74	150		
	女性	13	15	14	18	16	76			
四国	男性	12	15	14	18	14	73	150		
	女性	13	15	14	19	16	77			
福岡	男性	30	30	26	33	26	145	300		
	女性	30	32	28	36	29	155			
九州 その他	男性	13	14	15	18	13	73	150		
	女性	14	15	16	17	15	77			

(実数)

- 集計方法 : ウェイトバック集計(回収したサンプルを市場ボリュームに換算して集計を行う)
各サンプルに、母集団<※>と回収サンプル数から割り出した「ウェイトバック値」を
掛け合わせて集計サンプルを算出
<※>2015年国勢調査確定値を用いた

	北海道	東北	北関東	首都圏	甲信越・北陸	愛知	東海 その他	京都・大阪 ・兵庫	近畿 その他	中国	四国	福岡	九州 その他	TOTAL
母集団	3,400,352	5,513,699	4,333,203	23,658,362	5,011,038	4,769,326	4,658,814	10,640,535	2,307,415	4,493,426	2,307,261	3,194,187	5,636,597	79,924,215
母集団比率	4.25%	6.90%	5.42%	29.60%	6.27%	5.97%	5.83%	13.31%	2.89%	5.62%	2.89%	4.00%	7.05%	100%
回収数	300	150	150	900	150	300	150	500	150	150	150	300	150	3500
回収比率	8.6%	4.3%	4.3%	25.7%	4.3%	8.6%	4.3%	14.3%	4.3%	4.3%	4.3%	8.6%	4.3%	100%
ウェイトバック値	0.496	1.61	1.265	1.151	1.463	0.696	1.36	0.932	0.674	1.312	0.674	0.466	1.646	
ウェイトバック後サンプル	149	241	190	1,036	219	209	204	466	101	197	101	140	247	3,500
ウェイトバック後比率	4.25%	6.90%	5.42%	29.60%	6.27%	5.97%	5.83%	13.31%	2.89%	5.62%	2.89%	4.00%	7.05%	100%

掛け合わせる

II. 結果の概要

【 総 括 】

クレジットカード保有率は



[昨年比 +2.1pt]

平均保有枚数は



[昨年比 ±0枚]

1番利用しているクレジットカードは
1ヶ月あたり



[昨年比 +0.3回]

利用金額は



[昨年比 +0.15万円]

1番多く利用するクレジットカードを
利用する理由は

ポイントやマイルが貯めやすいから



入会金・年会費が他社と比較して
安いから(無料含む)



クレジットカード決済が多い業種は



スーパーマーケット

[昨年比 +3.8pt]



オンラインショッピング
(フリマサイト以外)

[昨年比 -0.3pt]



携帯電話

[昨年比 +2.2pt]

クレジットカード保有者の
世帯あたりの月平均生活費は



そのうちクレジットカードでの
支払い平均は



II. 結果の概要

【 総 括 】

電子マネーの保有率は



[昨年比 -6.8pt]

利用率は



[昨年比 +2.6pt]

デビットカードの保有率は



[昨年比 +0.1pt]

利用率は



[昨年比 -0.6pt]

スマホ決済の保有率は



[昨年比 +13.6pt]

利用率は



[昨年比 +17.8pt]

※スマホ決済: スマートフォンやタブレットを用いて支払いをするサービス (Apple Pay, Google Pay, PayPay, LINE Pay, 楽天ペイ等)

現金の利用が



スマホ決済の利用が



政府の「キャッシュレス・ポイント還元事業」
後のキャッシュレスの利用増加率



1. クレジットカード保有率



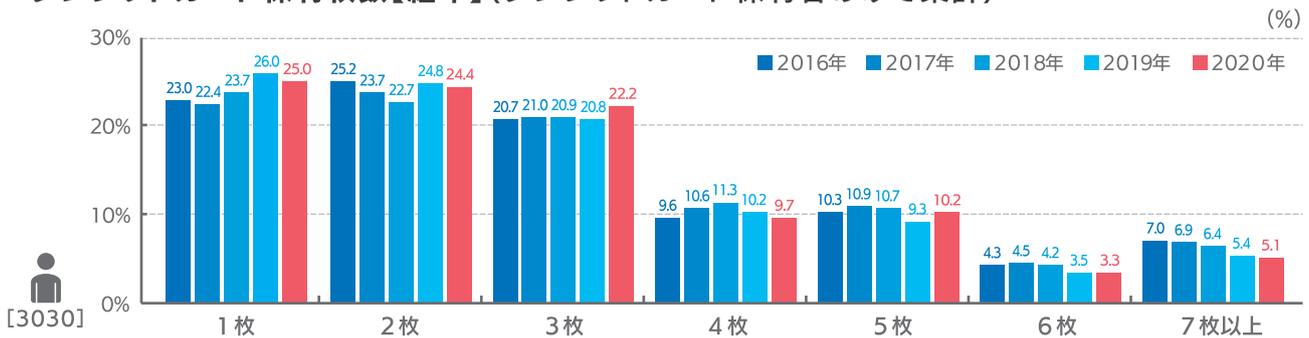
クレジットカードの保有率は86.6%で、2015年以降では最高となった。

- ・クレジットカード保有率は86.6%で、2015年以降では最高となった。
- ・保有枚数は昨年と比べて「1～2枚」が微減し、「3枚」、「5枚」が僅かに増加。「1枚」～「3枚」が全体の約7割を占める。

■クレジットカード保有率【経年】



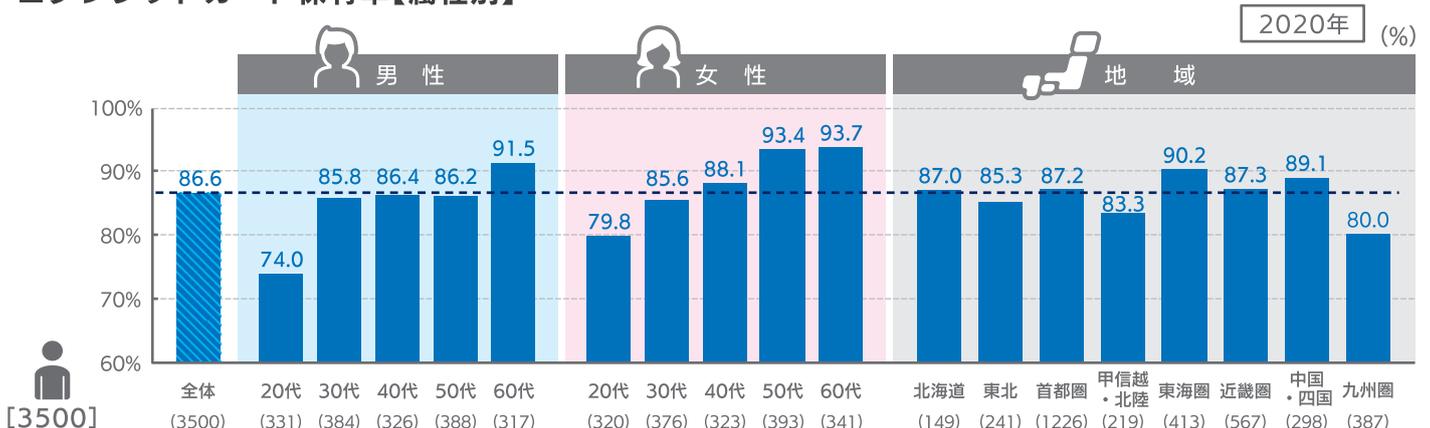
クレジットカード保有枚数【経年】(クレジットカード保有者のみで集計)



20代のクレジットカード保有率は男性が74.0%、女性が79.8%。女性の保有率は全体的に男性より高い。

- ・20代のクレジットカード保有率は男性74.0%、女性79.8%と他の年代と比較すると低く、特に男性で顕著である。
- ・男女別では、男性60代、女性50～60代の保有率が9割以上で高い。地域別では、東海圏の保有率が90.2%と最も高く、九州圏が80.0%で最も低い。

■クレジットカード保有率【属性別】



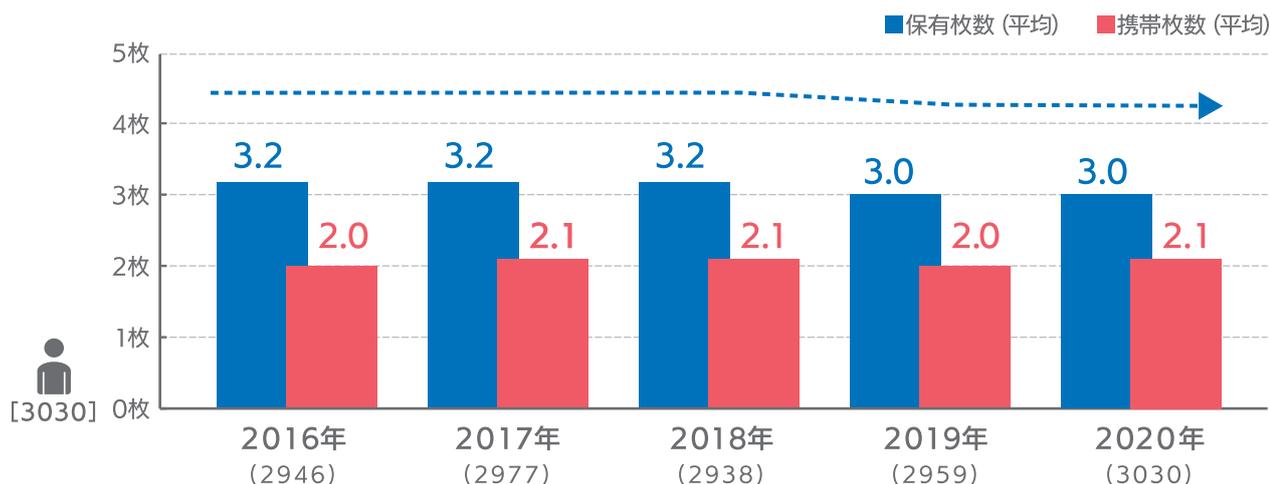
2. クレジットカード保有・携帯枚数



平均保有枚数は3.0枚、平均携帯枚数は2.1枚。
ともに2016年から横ばい。

- ・クレジットカードの平均保有枚数は3.0枚で、2016年から同程度で推移。
- ・携帯枚数(持ち歩いているクレジットカードの枚数)は平均2.1枚。保有枚数と同様に、2016年から横ばいに推移している。

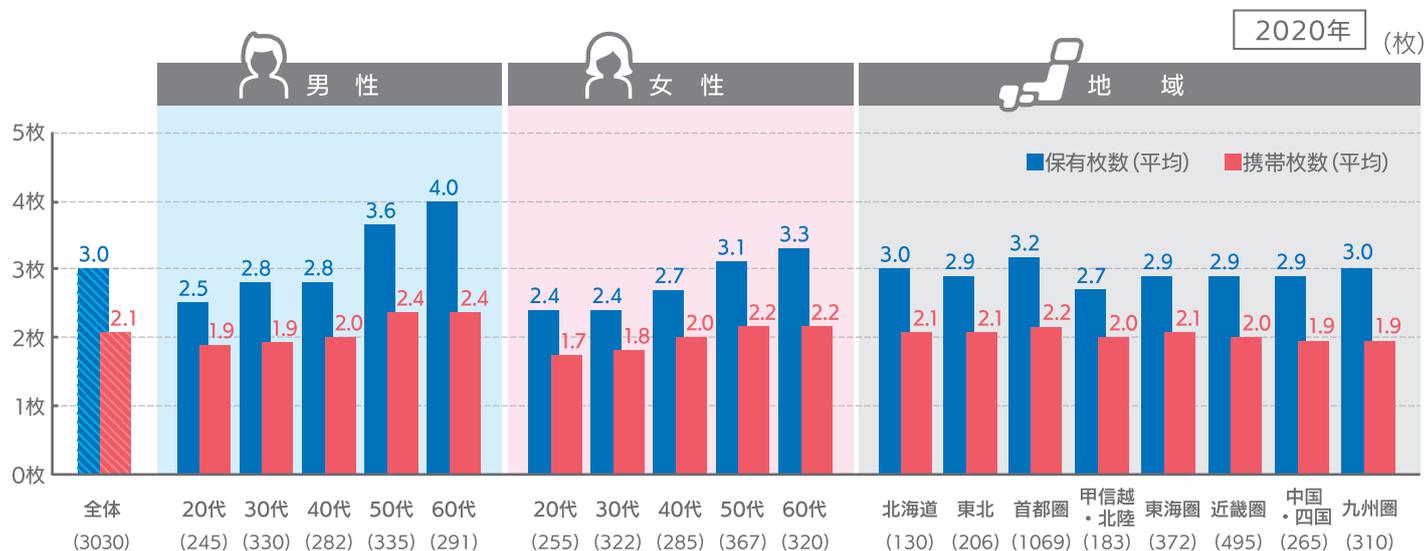
■クレジットカード平均保有枚数/携帯枚数(クレジットカード保有者)【2020年】



平均保有枚数は男性50～60代が多い。
平均携帯枚数は性別で大きな差はみられない。

- ・保有枚数は女性より男性が多い。年齢が上がるほど保有枚数は多くなり、特に男性50～60代の保有枚数が4枚程度と多い。一方で、男性20～40代、女性20～40代は3枚に満たない。地域別で3枚を上回るのは、北海道、首都圏、九州圏。
- ・携帯枚数は性別で大きな差はみられないが、保有枚数同様、男性20～30代、女性20～30代が全体より少なく、2枚に満たない。地域別では、中国・四国、九州圏が2枚に満たない。

■クレジットカード平均保有枚数 / 携帯枚数【属性別】

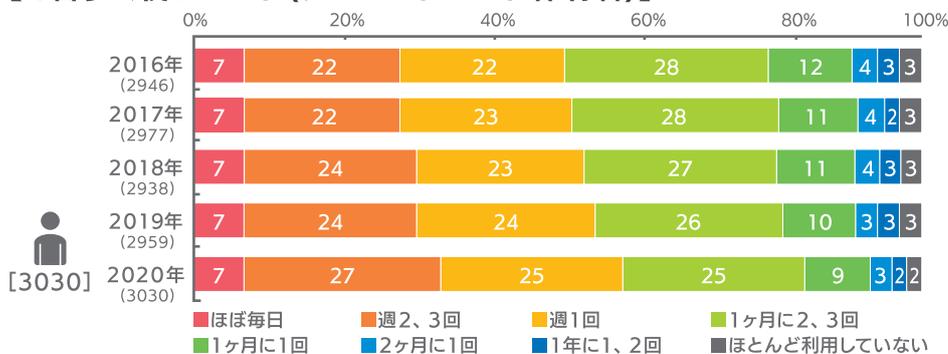


3. クレジットカード利用頻度



「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用頻度は6.4回。

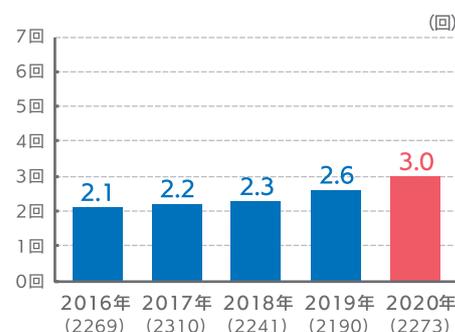
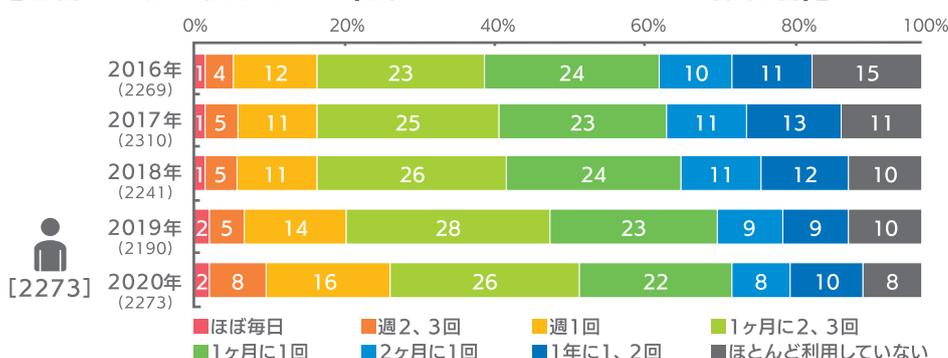
【1番多く使うカード(クレジットカード保有者)】



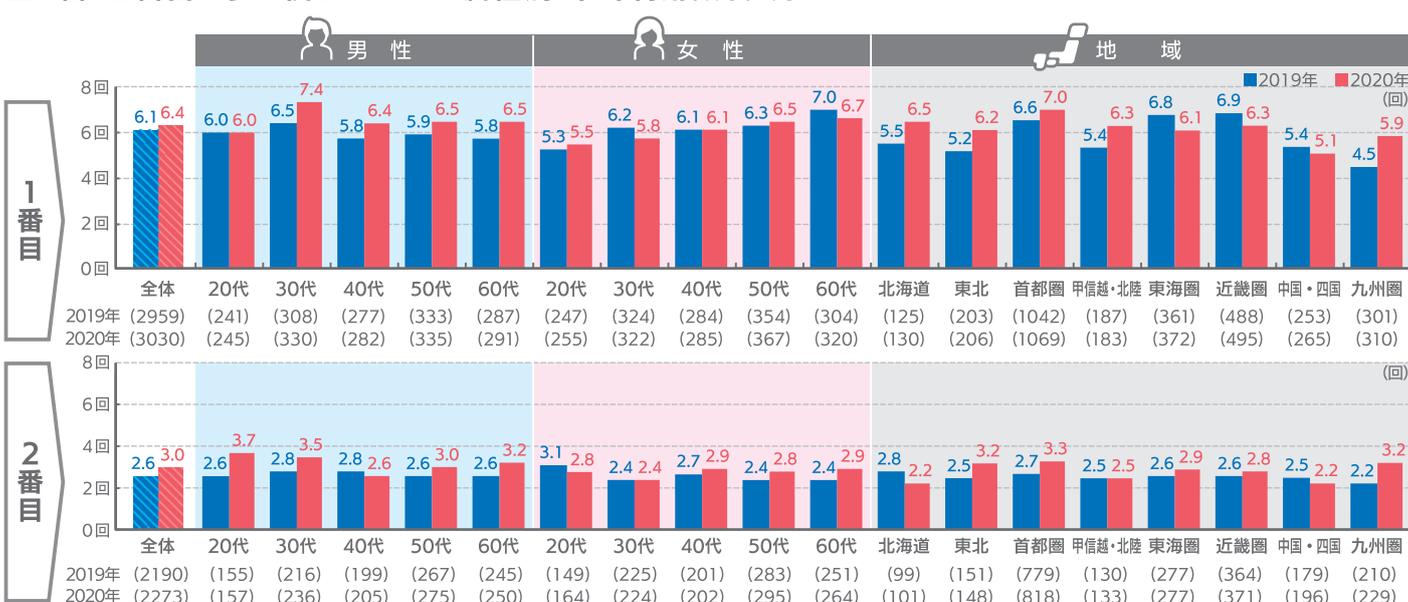
《月平均》



【2番目に多く使うカード(2枚以上クレジットカード保有者)】



■1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用頻度/月



※利用頻度の定義:本報告書における利用頻度は、下記の選択肢に対して、具体的な利用頻度を定義し、その平均値を算出したものである

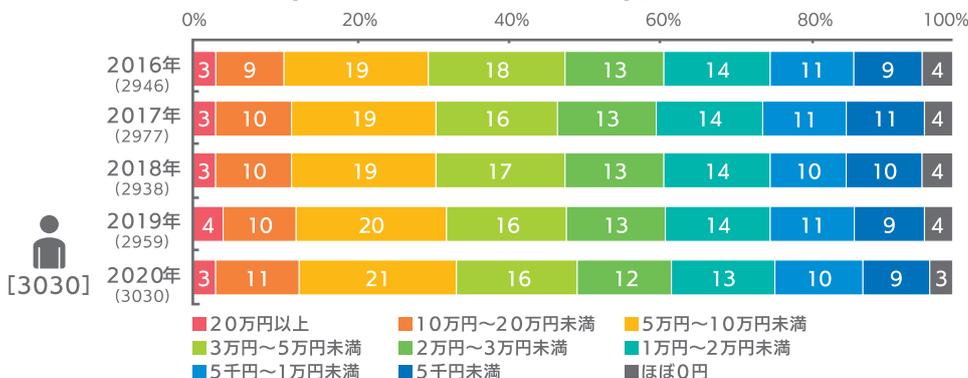
選択肢	ほぼ毎日	週2、3回	週1回	1ヶ月に2、3回	1ヶ月に1回	2ヶ月に1回	1年に1、2回	ほとんど利用していない
定義	週に5.5日	週に2.5日	週に1日	月に2.5日	月に1日	2ヶ月に1日	1年に2日	使用していない
年間利用回数推定	286回	130回	52回	30回	12回	6回	2回	0回

4. クレジットカード利用金額

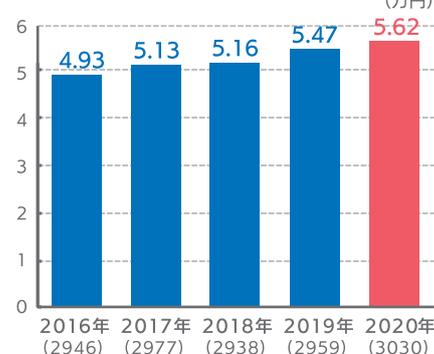


「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用金額は5.6万円。
1番目、2番目ともに2019年から利用金額は微増。

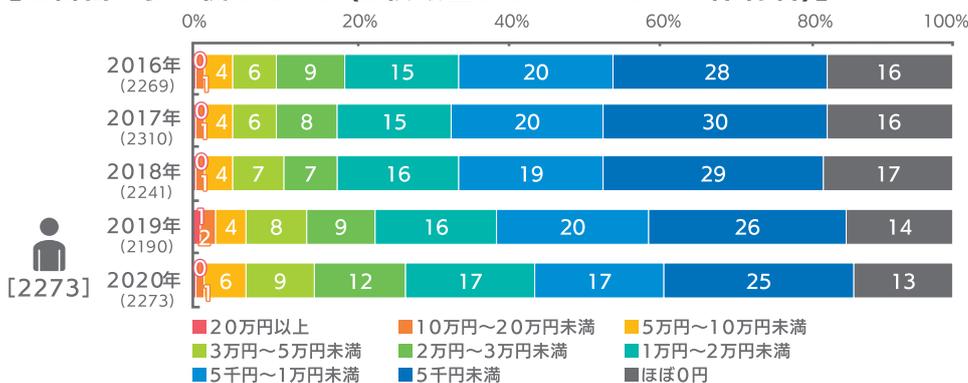
【1番多く使うカード(クレジットカード保有者)】



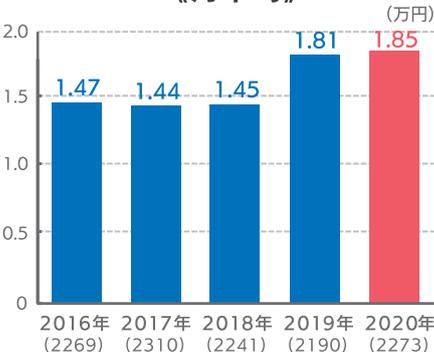
《月平均》



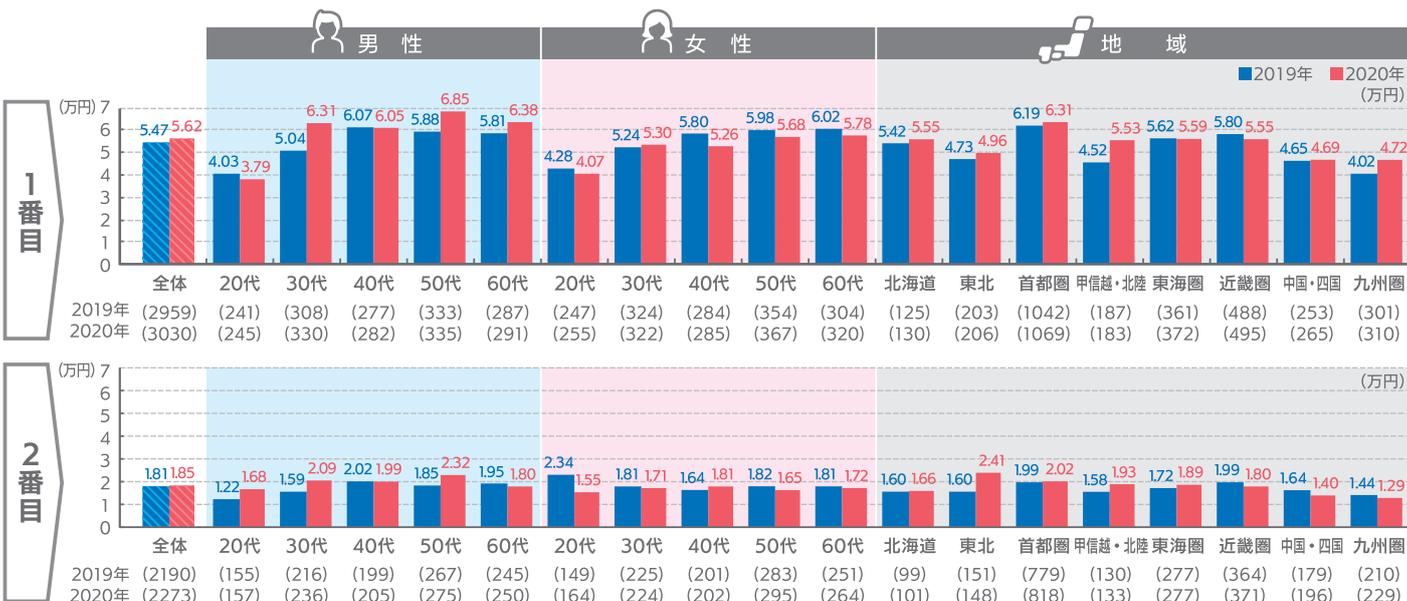
【2番目に多く使うカード(2枚以上クレジットカード保有者)】



《月平均》



■ 1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用金額 / 月



※利用金額の定義: 本報告書における利用金額は、下記の選択肢に対して、具体的な利用金額を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	20万円以上	10万円～20万円未満	5万円～10万円未満	3万円～5万円未満	2万円～3万円未満	1万円～2万円未満	5千円～1万円未満	5千円未満	ほぼ0円
年間利用金額推定	300,000円	150,000円	75,000円	40,000円	25,000円	15,000円	7,500円	2,500円	0円

なお、後述する世帯における利用金額は、選択肢ではなく数値回答であるため、そのまま平均値を算出した

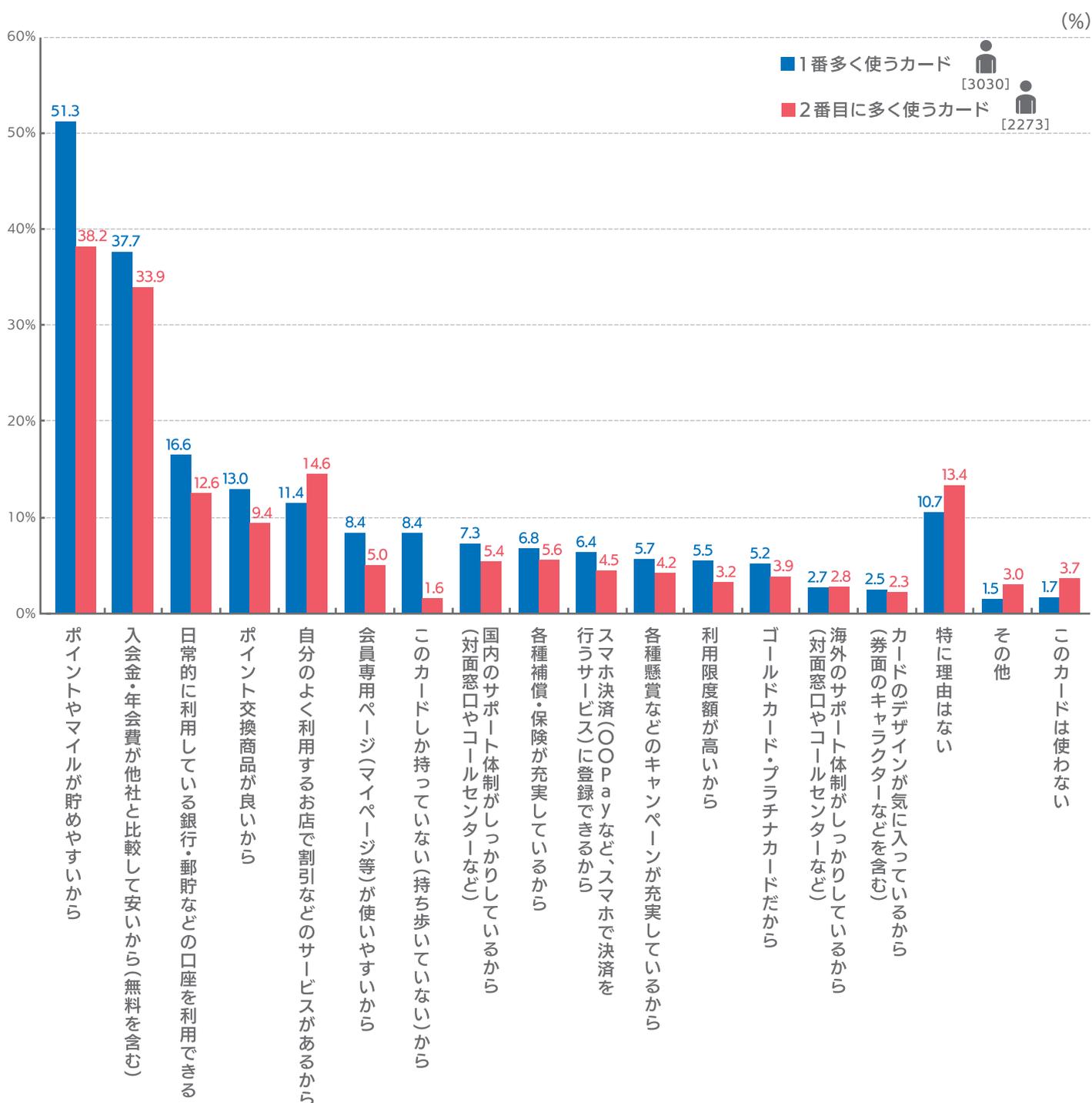
5. 保有クレジットカードの利用理由



1番多く使うクレジットカードの主な利用理由は、「ポイントやマイルが貯めやすいから」と、「入会金・年会費が他社と比較して安いから」。

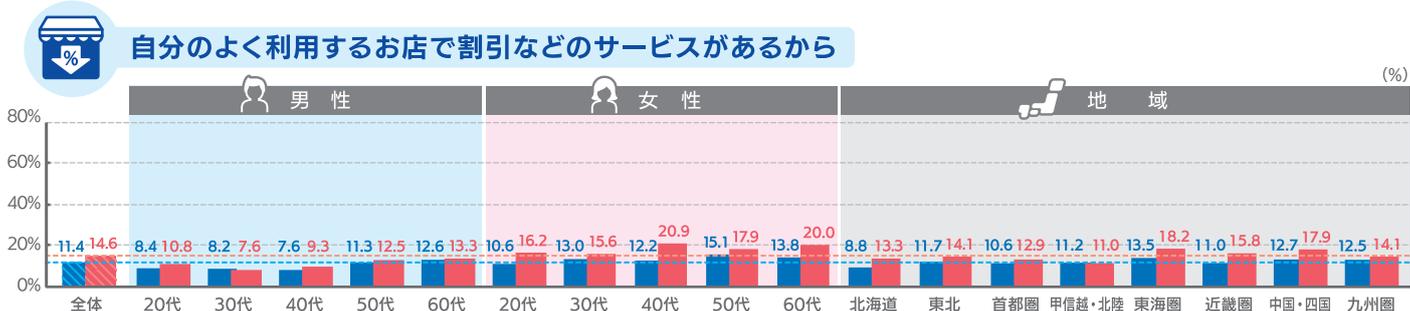
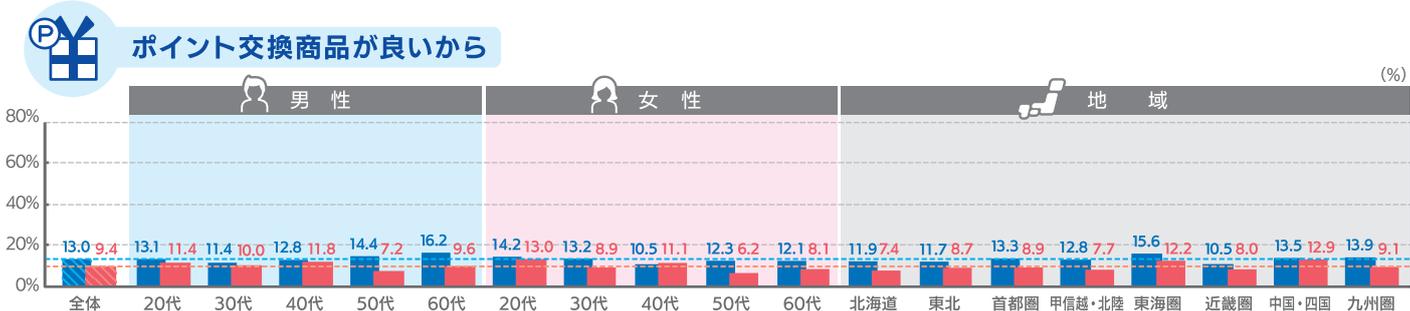
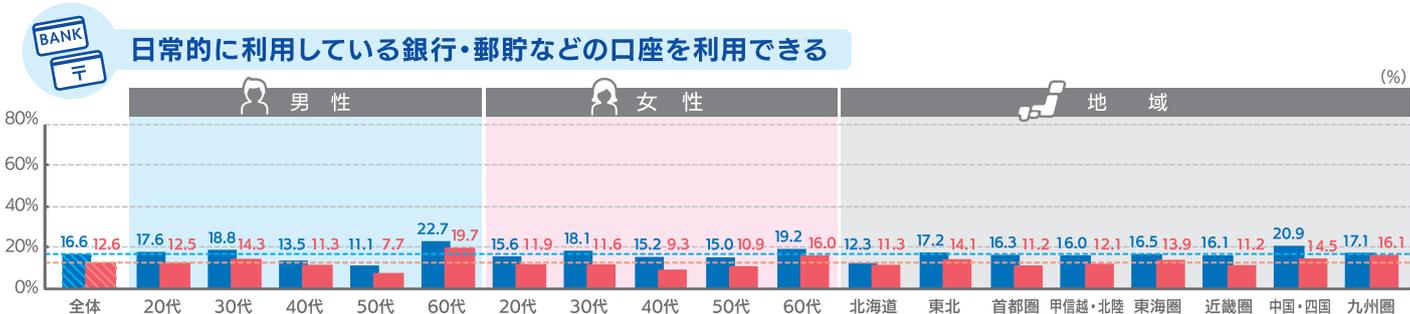
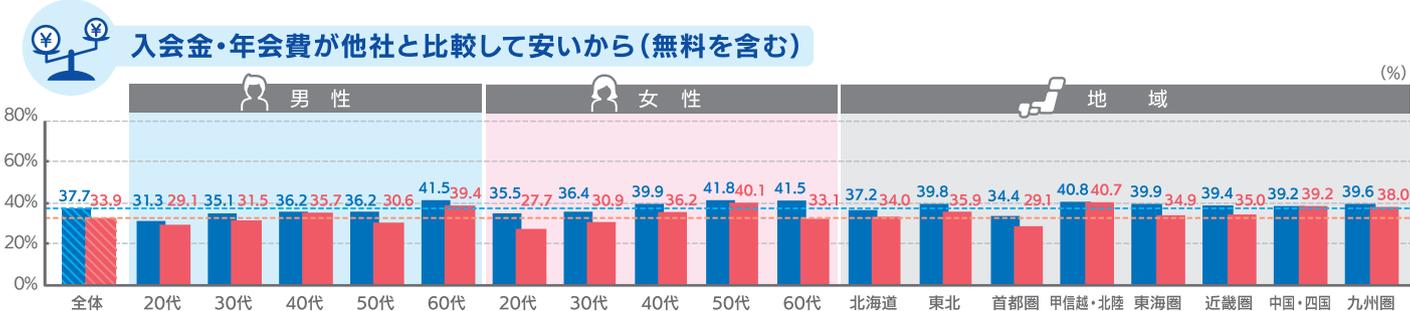
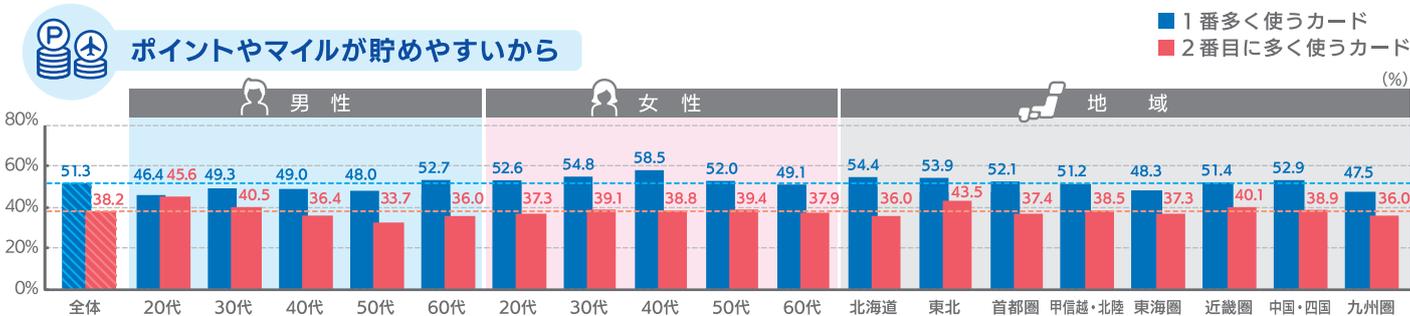
- ・1番多く使うクレジットカードの利用理由としては、「ポイントやマイルが貯めやすいから(51.3%)」が高い。「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)(37.7%)」が続く。
- ・2番目に多く使うカードも同様、「ポイントやマイルが貯めやすいから(38.2%)」が最も高く、「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)(33.9%)」が続く。

■クレジットカードの利用理由(保有クレジットカードの発行会社の利用理由)



「ポイントやマイルが貯めやすいから」の利用の割合は、女性40代が高く、「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)」は男性60代、女性50～60代が高い。

■クレジットカードの利用理由(保有クレジットカードの発行会社の利用理由)【属性別】上位5項目



1枚目 (3030) (245) (330) (282) (335) (291) (255) (322) (285) (367) (320) (130) (206) (1069) (183) (372) (495) (265) (310)
 2枚目 (2273) (157) (236) (205) (275) (250) (164) (224) (202) (295) (264) (101) (148) (818) (133) (277) (371) (196) (229)

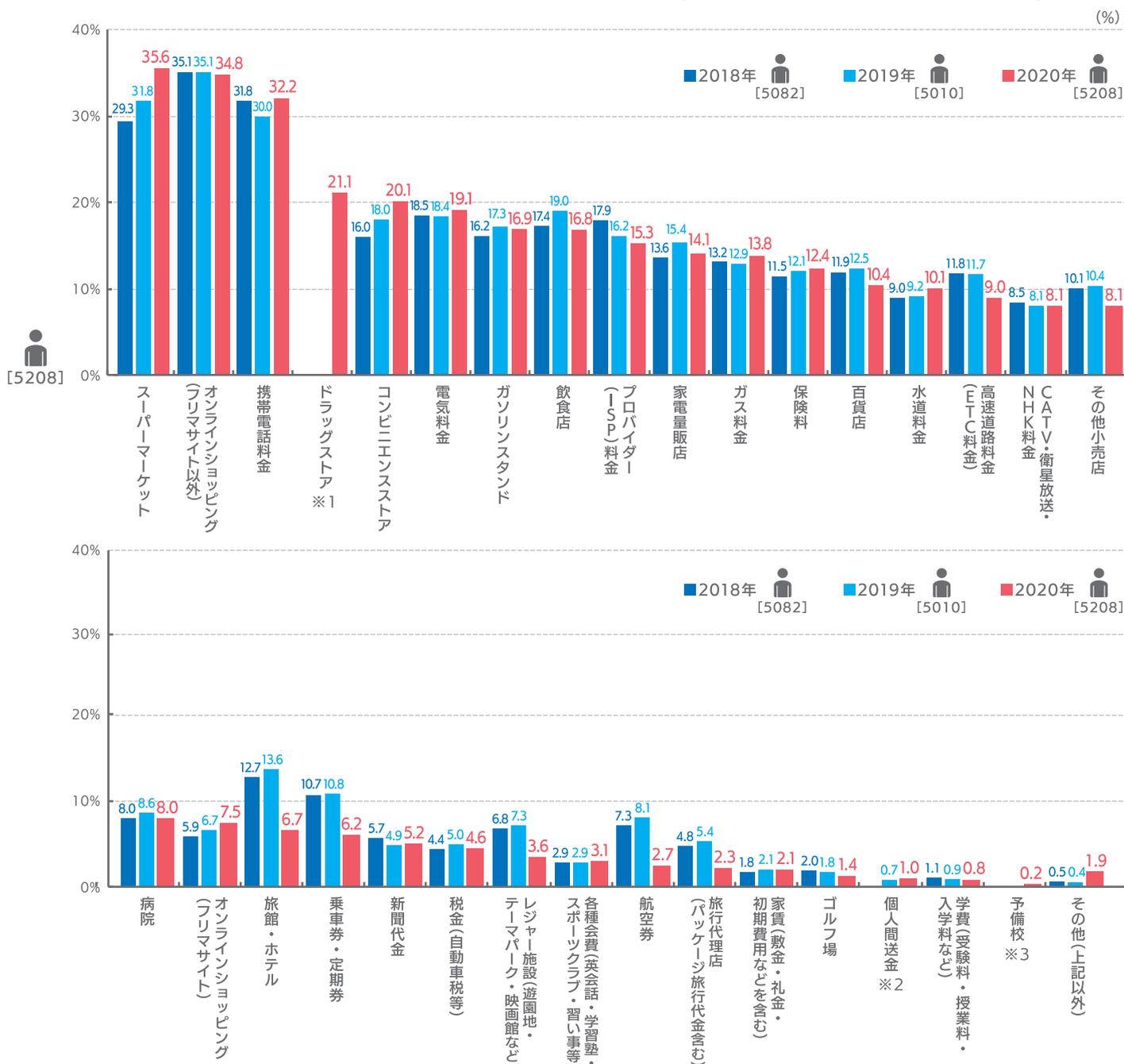
6. クレジットカード利用業種



カード利用が多い業種は「スーパーマーケット」、
「オンラインショッピング(フリマサイト以外)」、「携帯電話料金」。
「スーパーマーケット」、「コンビニエンスストア」、
「オンラインショッピング(フリマサイト)」でのカード利用は、増加傾向がみられる。

- ・クレジットカードを利用している業種は、「スーパーマーケット(35.6%)」が最も高い。
次いで「オンラインショッピング(フリマサイト以外)(34.8%)」「携帯電話料金(32.2%)」が続く。
- ・「携帯電話料金」、「コンビニエンスストア」、「電気料金」など、一部の業種においてカード利用が増加している。

■過去3ヶ月以内に、クレジットカードで支払いをした業種【経年】(クレジットカード枚数(2枚目まで))



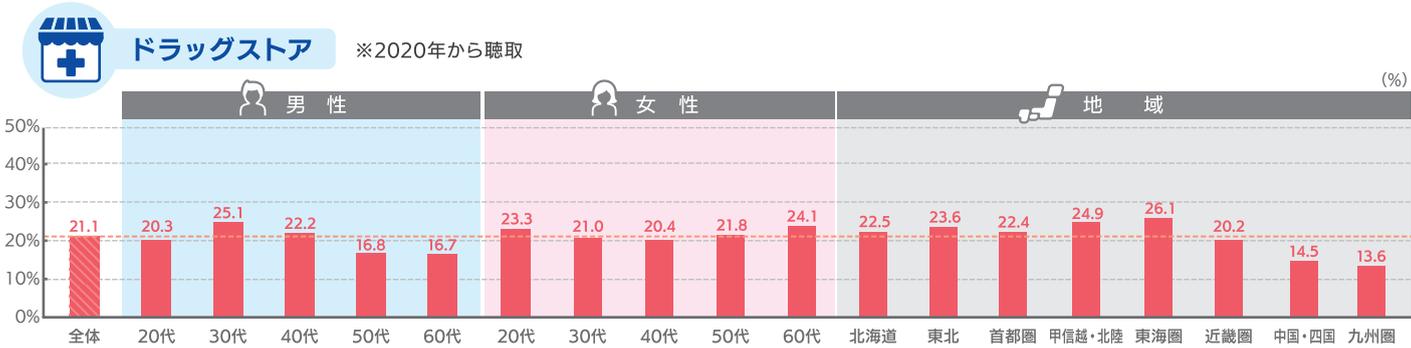
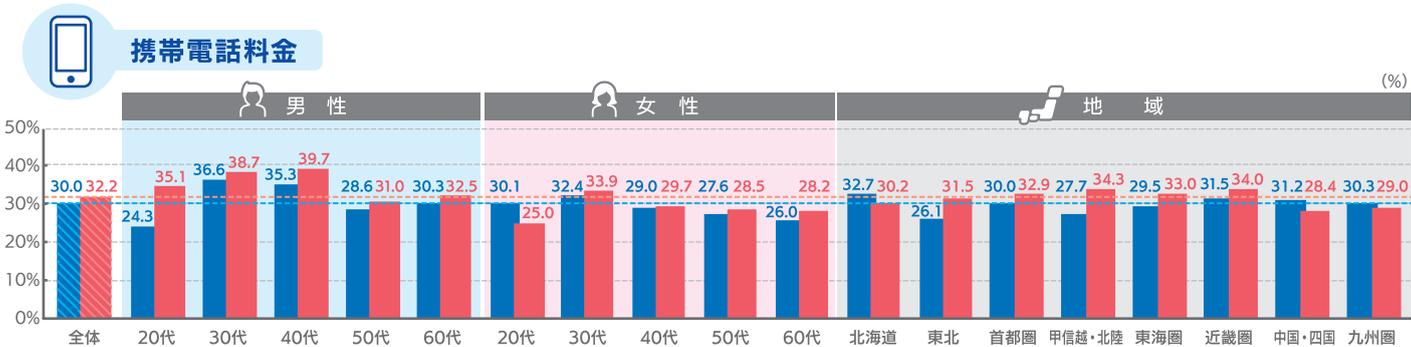
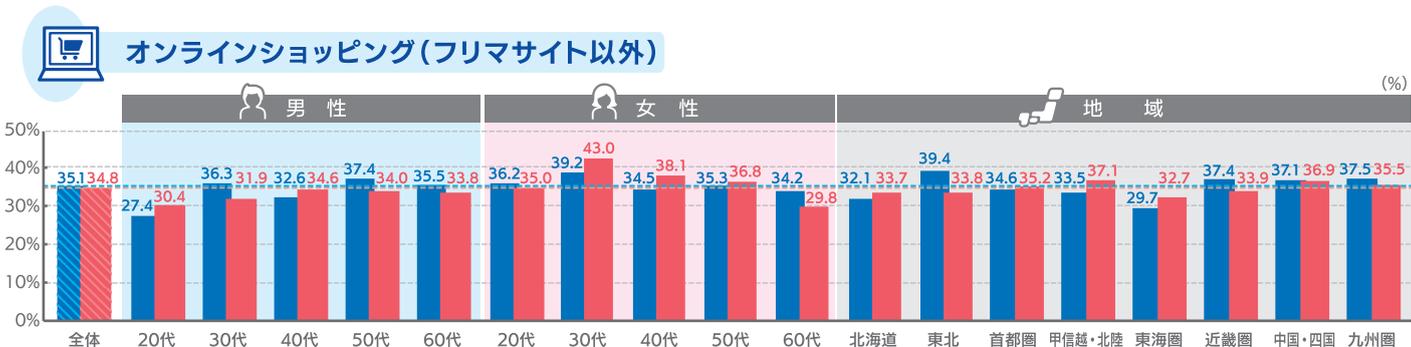
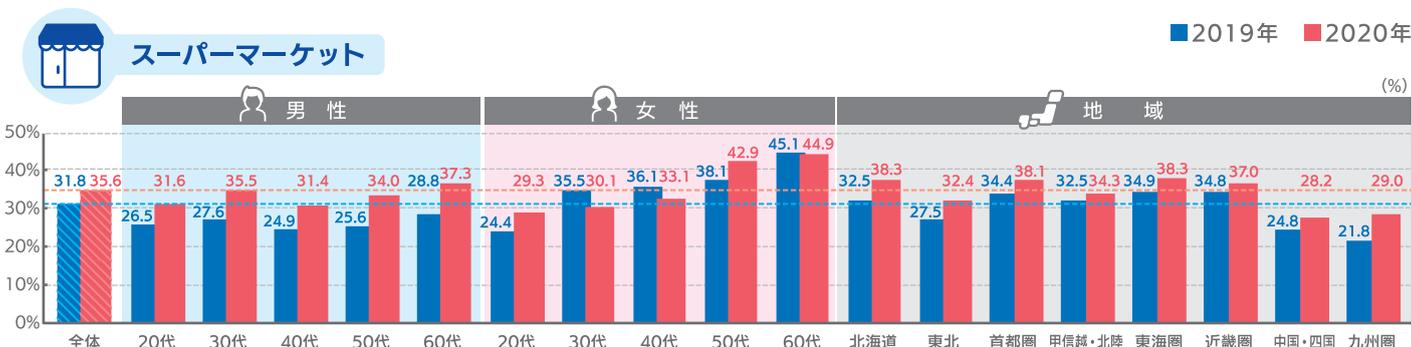
選択肢変更について(※1~※3)

※1:2020年から選択肢を追加 ※2:2019年から選択肢を追加。 ※3:2020年から選択肢を追加。

※ここでのクレジットカード利用業種は、クレジットカード枚数(回答者1人あたり複数枚数について回答)をベースとして集計しています。

「スーパーマーケット」での利用の割合は男性より女性が高い傾向にあり、特に女性50～60代が高い。
 「オンラインショッピング(フリマサイト以外)」は20～50代までは男性より女性が高い傾向があり、特に女性30代が高い。
 「携帯電話料金」では、男性30～40代が高い。

■過去3ヶ月以内に、クレジットカードで支払いをした業種【属性別】 ※ここでのクレジットカード利用業種は、全クレジットカード枚数をベースとして集計しています。

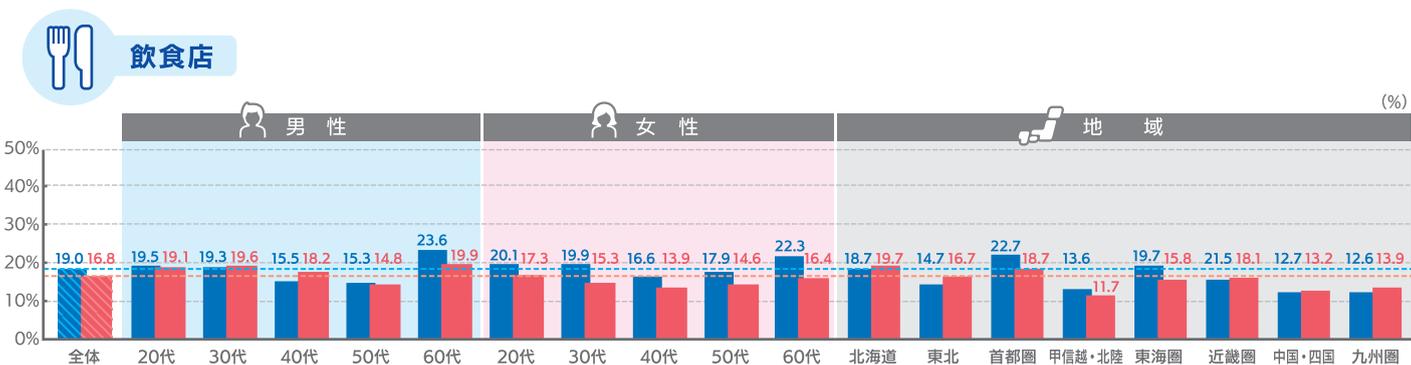
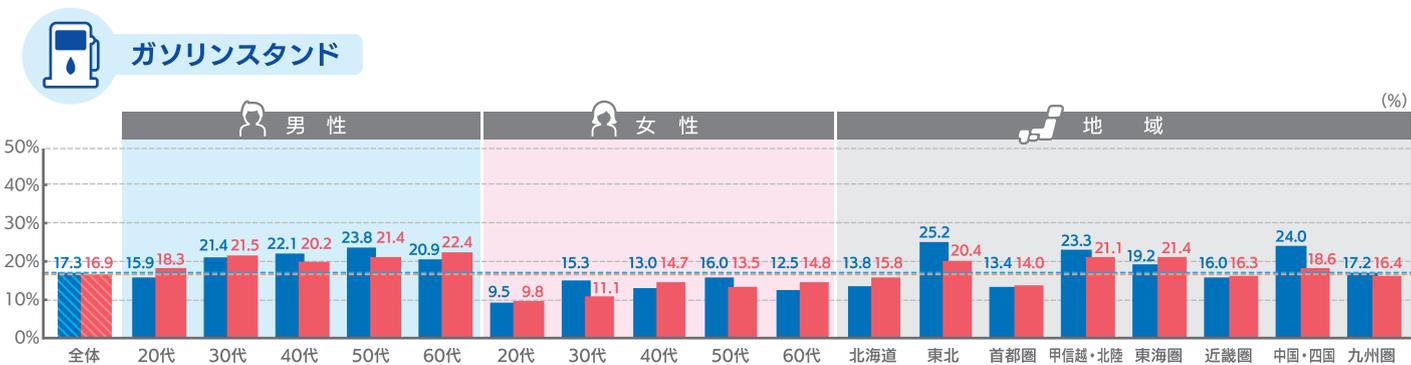
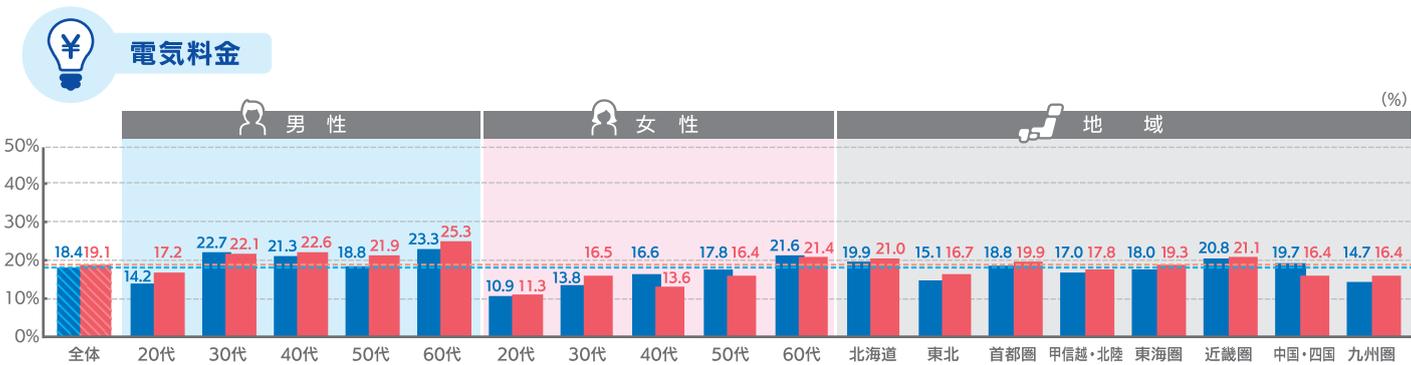
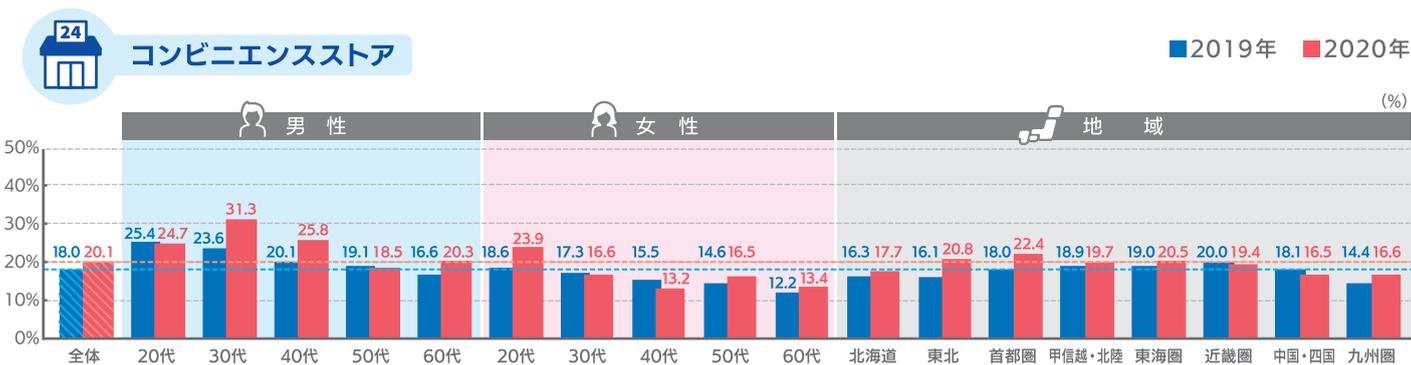


2019年(5010)	(374)	(511)	(462)	(580)	(519)	(380)	(537)	(468)	(627)	(550)	(220)	(351)	(1763)	(301)	(630)	(825)	(424)	(496)
2020年(5208)	(389)	(557)	(475)	(593)	(537)	(411)	(534)	(477)	(656)	(578)	(227)	(348)	(1855)	(312)	(633)	(853)	(452)	(529)

「コンビニエンスストア」でのカード利用の割合は、男性30代が高い。

「電気料金」は昨年と同様に、女性より男性の方が高い。

「ガソリンスタンド」は男性が高く、エリア別では東北、甲信越・北陸、東海圏が高い。



2019年 (5010) (374) (511) (462) (580) (519) (380) (537) (468) (627) (550) (220) (351) (1763) (301) (630) (825) (424) (496)
 2020年 (5208) (389) (557) (475) (593) (537) (411) (534) (477) (656) (578) (227) (348) (1855) (312) (633) (853) (452) (529)

7. 支払いの際のクレジットカード利用割合

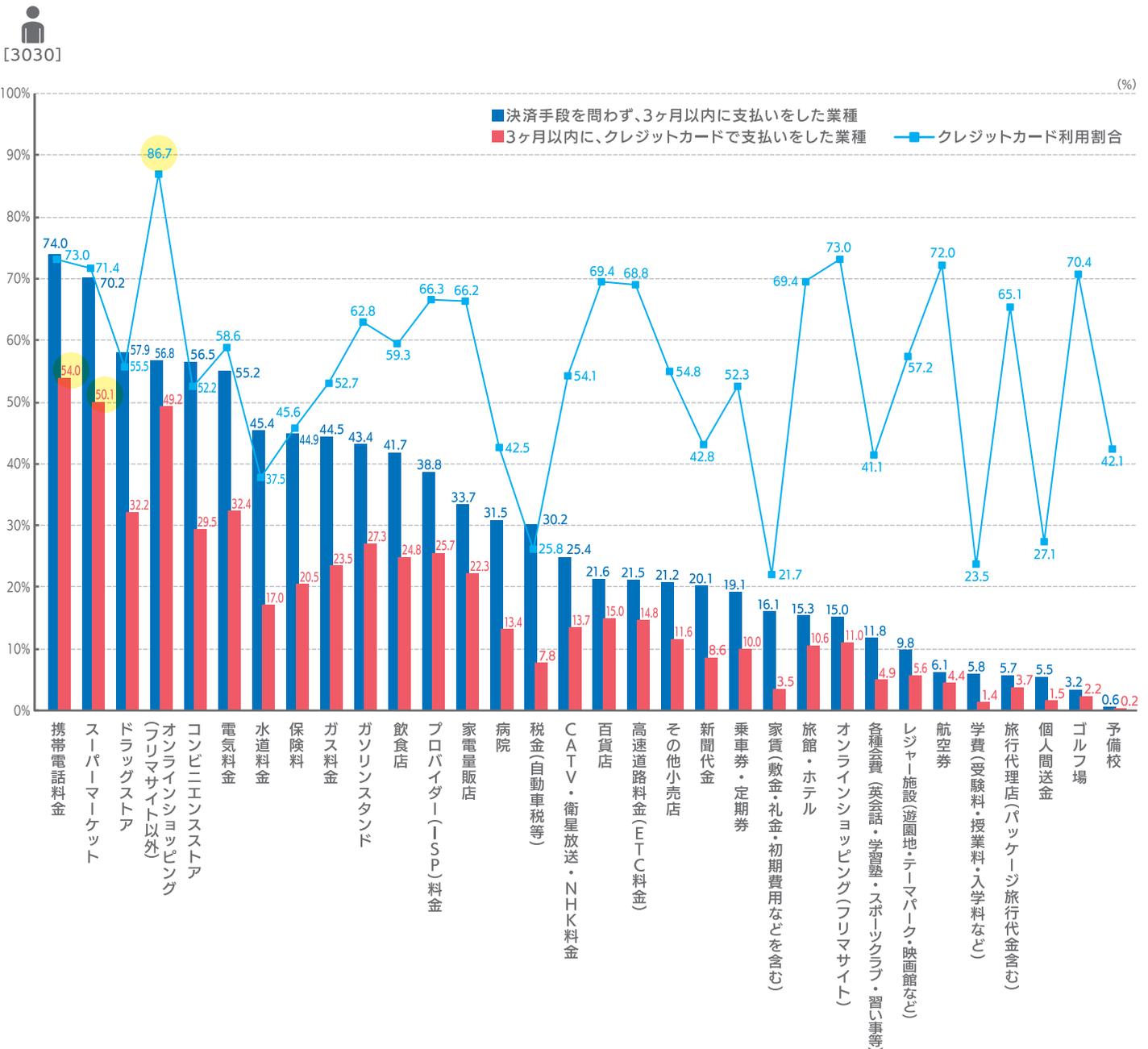


クレジットカード保有者の5割以上が、「携帯電話料金」、「スーパーマーケット」の支払いでカードを利用している。

「オンラインショッピング(フリマサイト以外)」では、支払いに占めるクレジットカード利用者の割合が8割を超える。

■支払いの際のクレジットカード利用者の割合 (クレジットカード保有者)

※ここでの利用業種は、クレジットカード保有者をベースとして集計しているため、前出の「クレジットカード枚数」をベースとした数値とは異なります。



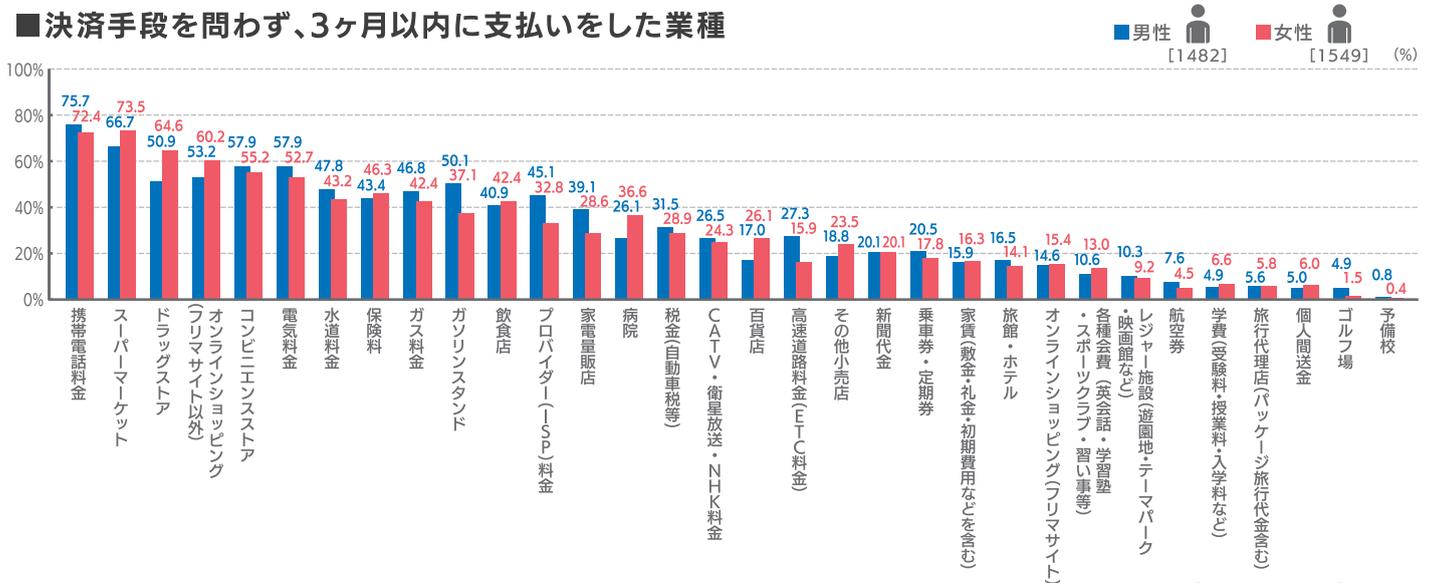
・決済手段を問わず、3ヶ月以内に支払いをした業種・・・クレジットカード、現金等を問わず3ヶ月以内に支払いをした業種

・クレジットカード利用割合・・・クレジットカード保有者をベースとして、「3ヶ月以内にクレジットカードで利用した」が「3ヶ月以内に支払いをした(クレジットカード、現金等問わず)」の人数に占める割合を%で示したもの。

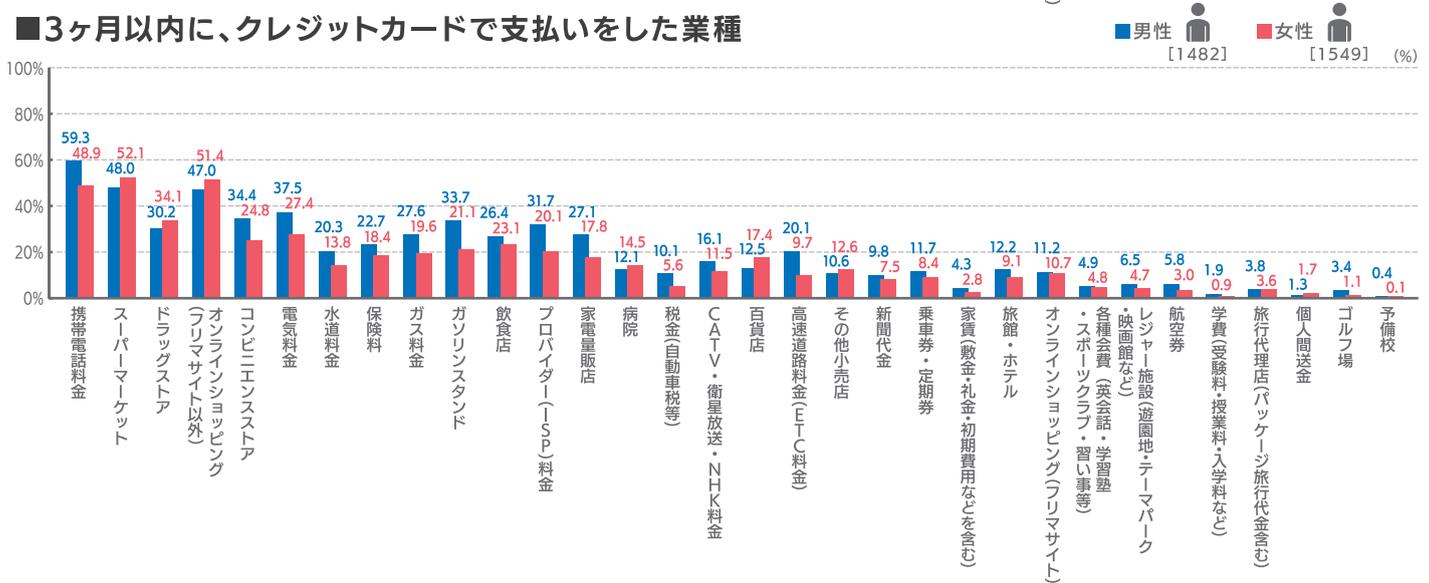
クレジットカード利用割合 = 【3ヶ月以内にクレジットカードで支払いをした業種】 ÷ 【決済手段を問わず、3ヶ月以内に支払いをした業種】

「ガソリンスタンド」や「プロバイダー」、「家電量販店」、「高速道路料金(ETC料金)」 などでのカード利用の割合は、女性より男性が特に高い。

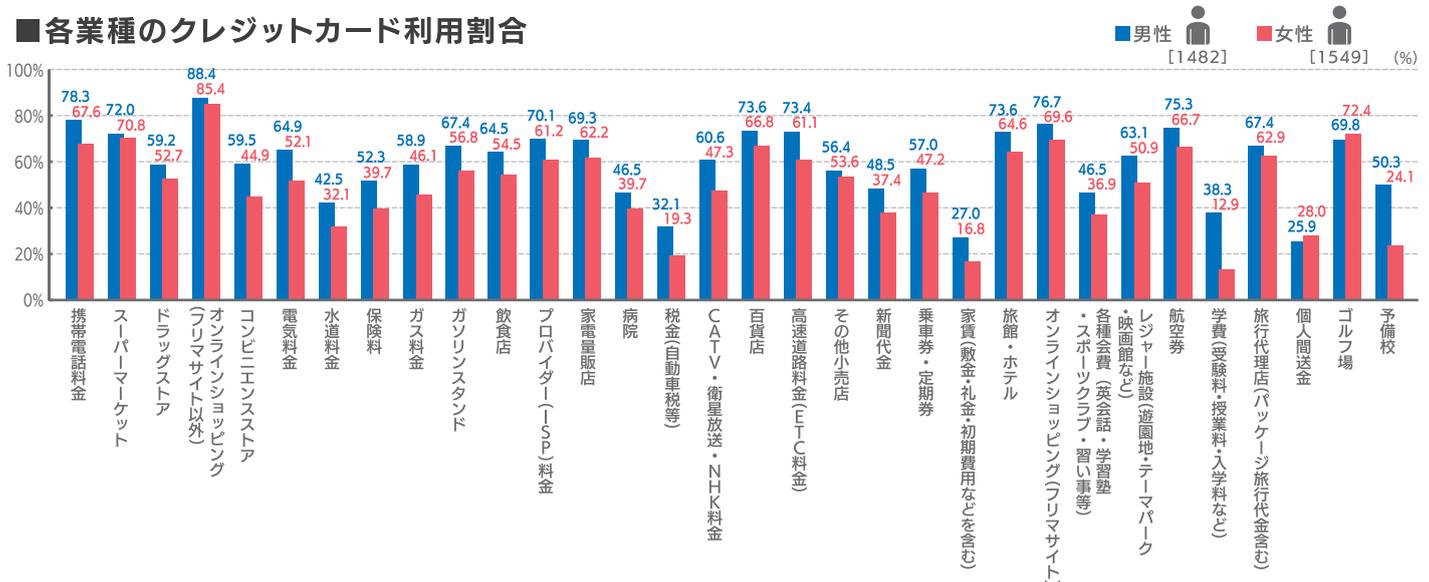
■決済手段を問わず、3ヶ月以内に支払いをした業種



■3ヶ月以内に、クレジットカードで支払いをした業種



■各業種のクレジットカード利用割合



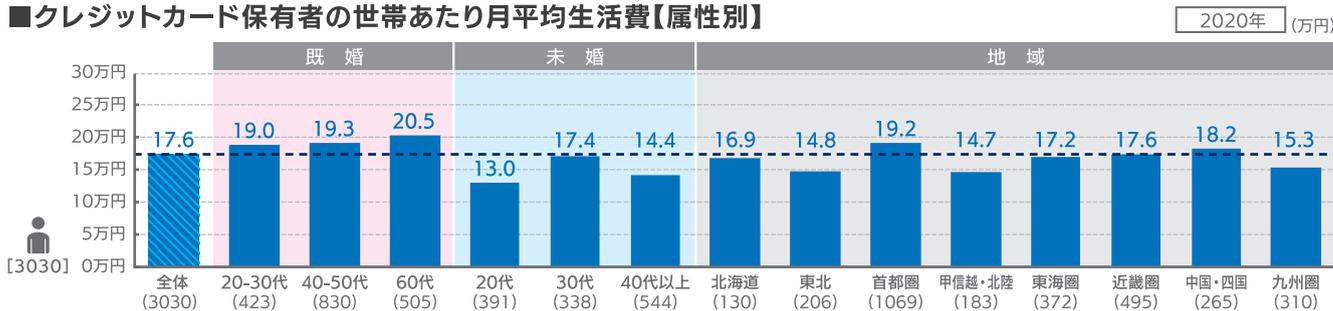
8. 月平均生活費とクレジットカード利用額



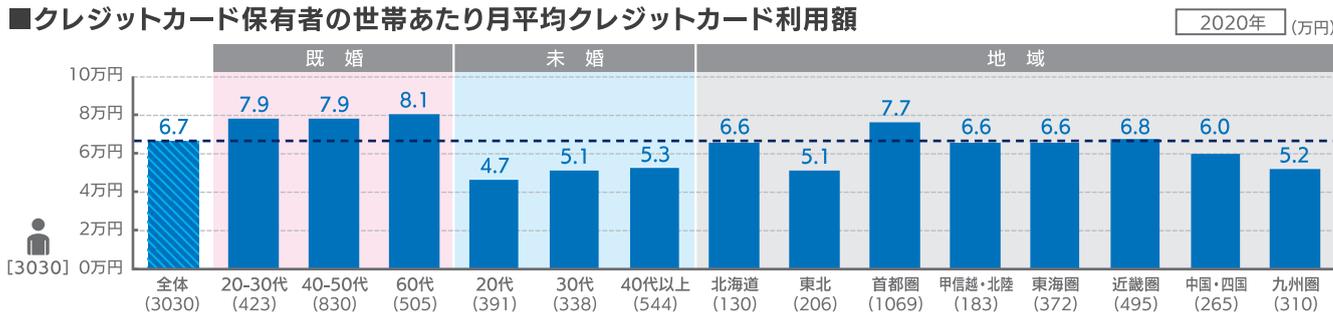
クレジットカード保有者の世帯あたりの月平均生活費は17.6万円。 そのうち平均6.7万円はクレジットカードで支払われている。

- ・クレジットカード保有者の世帯あたり月平均生活費は17.6万円。既婚世帯の年齢が高い層ほど生活費は高い。地域別では、首都圏が19.2万円で最も高い。
- ・クレジットカード保有者の世帯あたり月平均クレジットカード利用額は6.7万円。地域別では、首都圏のカード利用額が7.7万円で最も高い。

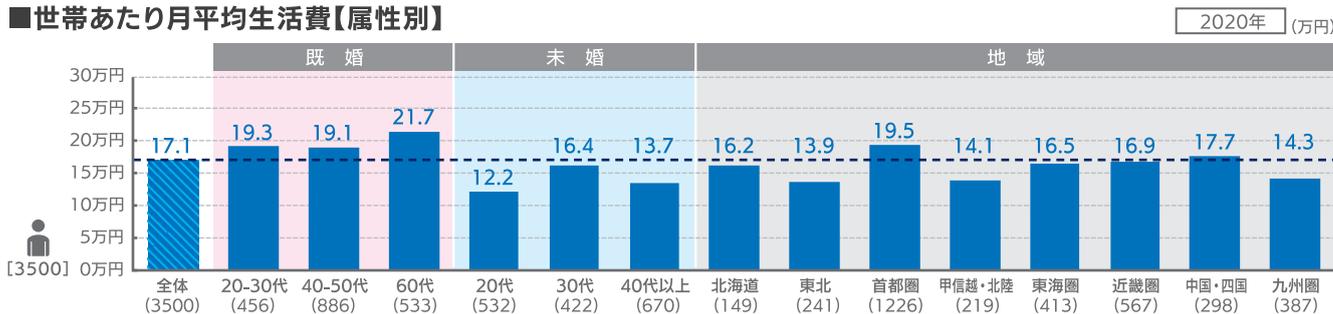
■クレジットカード保有者の世帯あたり月平均生活費【属性別】



■クレジットカード保有者の世帯あたり月平均クレジットカード利用額



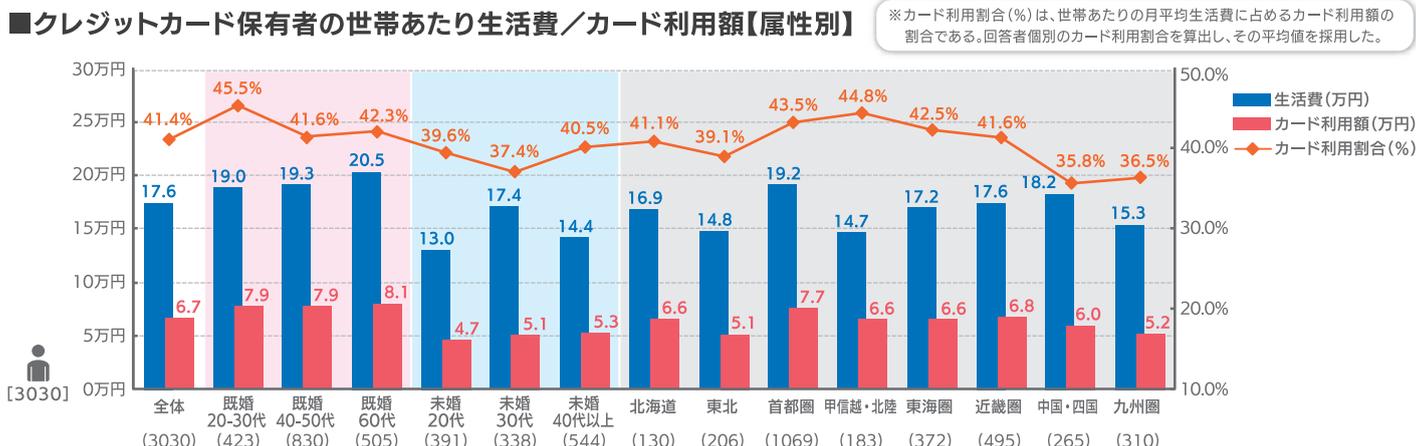
■世帯あたり月平均生活費【属性別】



クレジットカード保有者のクレジットカード利用割合は41.4%。

- ・クレジットカード保有者の世帯あたり生活費に占めるクレジットカードの利用割合は、41.4%。既婚20~30代や首都圏、甲信越・北陸でのカード利用割合が高い。

■クレジットカード保有者の世帯あたり生活費／カード利用額【属性別】



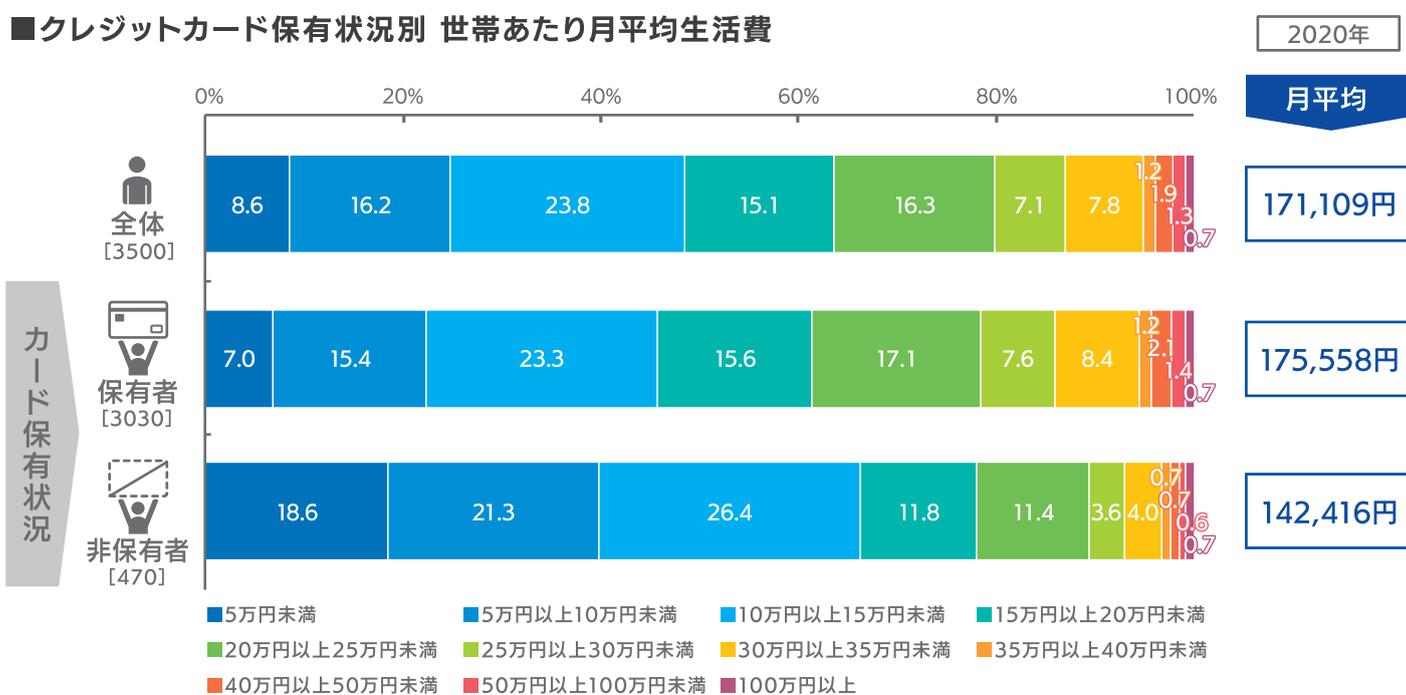
9. 月平均生活費とクレジットカードの保有状況



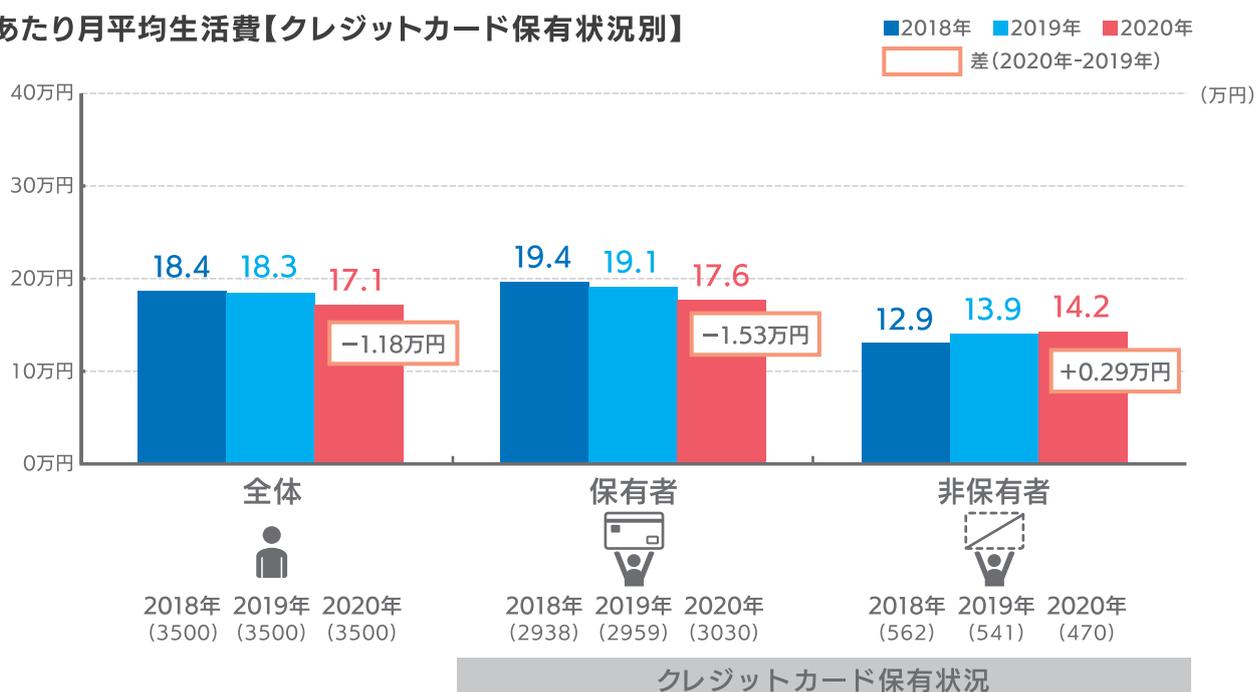
クレジットカード保有者の月平均生活費は、非保有者の月平均生活費を3.3万円上回る。

- ・クレジットカードの保有・非保有別にみた月平均生活費では、保有者が月平均17.6万円而非保有者(14.2万円)を月3.3万円上回る。クレジットカードの保有状況と世帯あたりの月平均生活費には、相関関係があると考えられる。
- ・世帯あたり月平均生活費は、昨年から11,800円の減少。クレジットカード保有者では15,300円減少した。非保有者は2,900円増加した。

■クレジットカード保有状況別 世帯あたり月平均生活費



■世帯あたり月平均生活費【クレジットカード保有状況別】



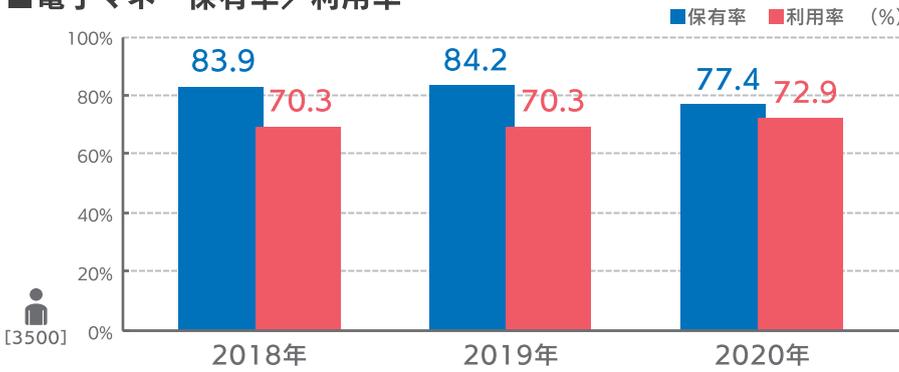
10. 電子マネーの利用状況



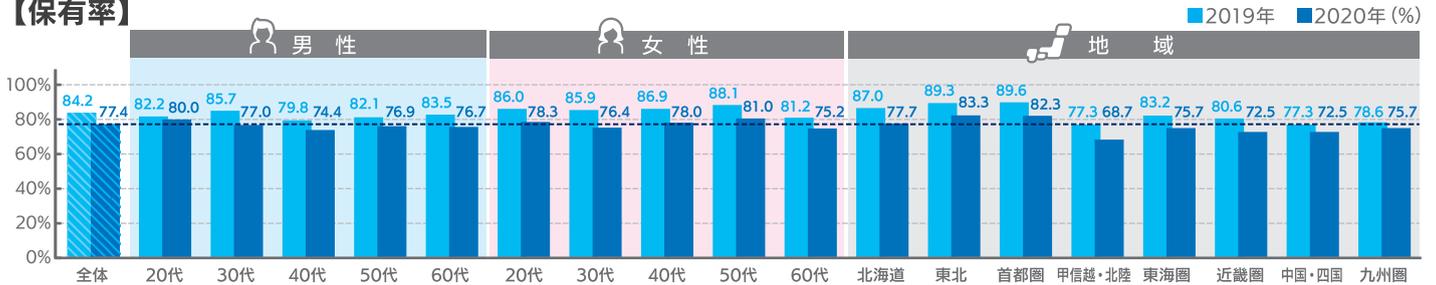
電子マネーの保有率は77.4%、利用率は72.9%。保有率は昨年から低下した。業種別では、「コンビニエンスストア」、「鉄道・地下鉄・バス」での利用率が高い。

- 電子マネーの保有率(77.4%)、利用率(72.9%)と保有率は昨年から低下、利用率は微増。保有率はどの属性においても低下している。一方で、利用率は上昇している属性が多いことから、電子マネーの絞り込みがされていると考えられる。
- 電子マネーで支払いをしている業種は、「コンビニエンスストア(46.0%)」が最も高い。次いで「鉄道・地下鉄・バス(44.9%)」が続く。

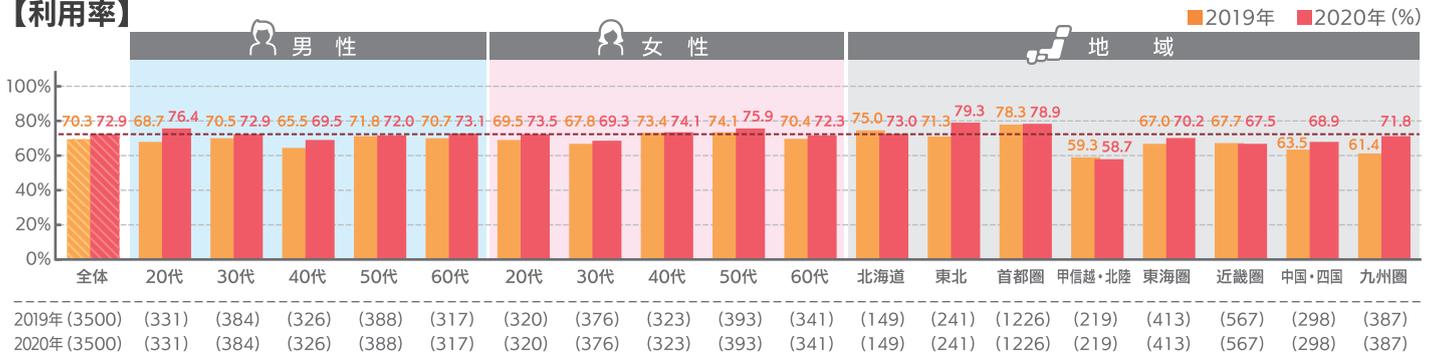
■ 電子マネー保有率/利用率



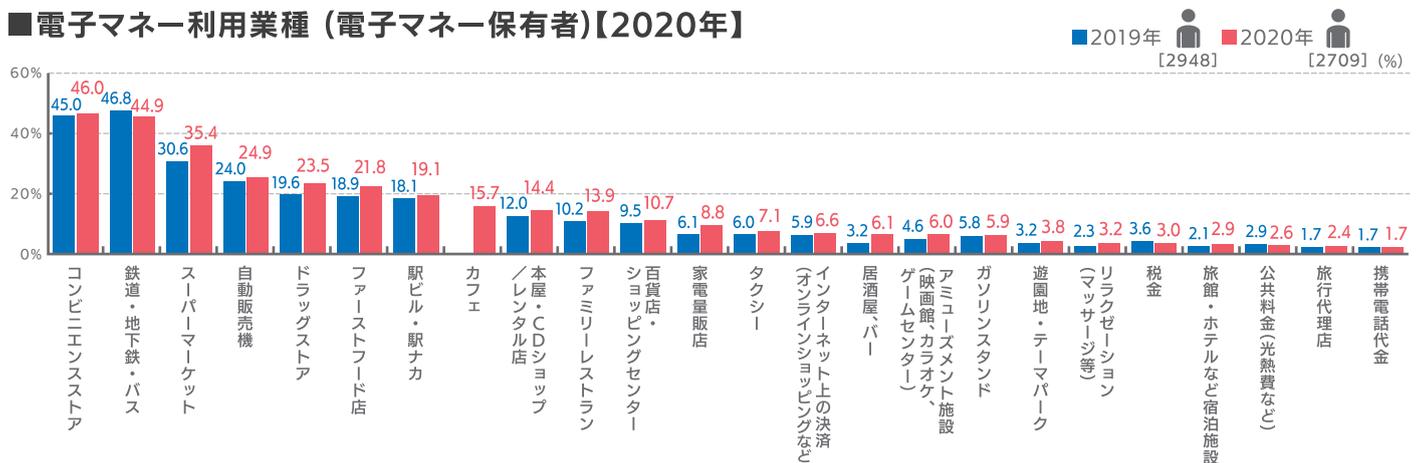
【保有率】



【利用率】



■ 電子マネー利用業種 (電子マネー保有者)【2020年】



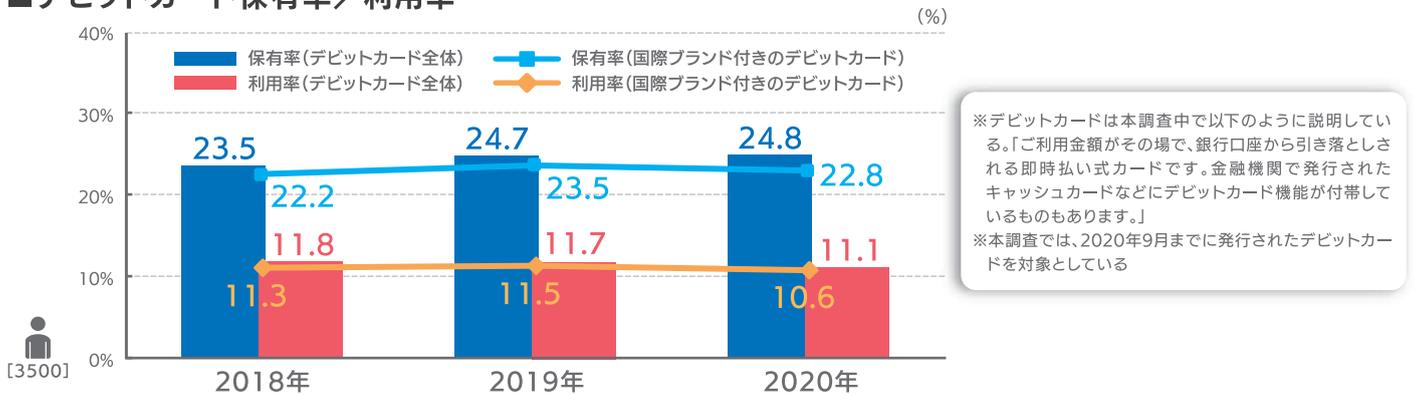
11. デビットカードの利用状況



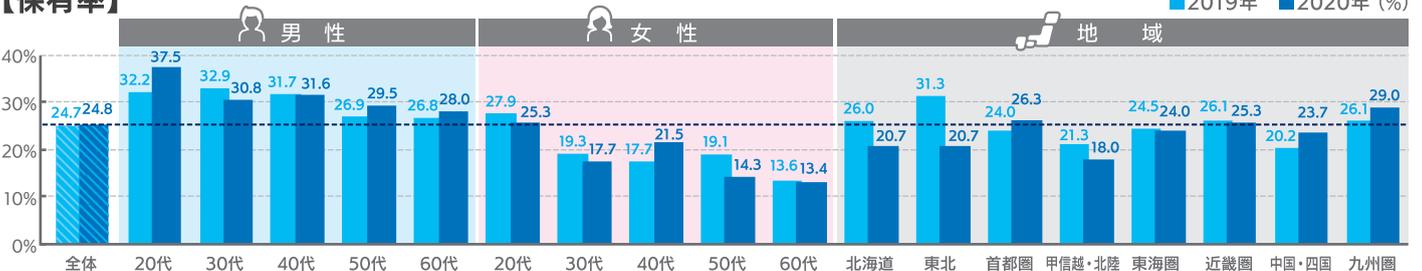
デビットカードの保有率は24.8%、利用率は11.1%で昨年と同程度。 主な利用理由は「家計管理をしやすい」。最も利用しているのは男性20代。

- ・デビットカードの保有率は24.8%で昨年と同程度であり、男性20代が上昇、北海道、東北が低下している。女性より男性の保有率が高い。国際ブランド付きのデビットカードの保有率は22.8%で、昨年と同程度。
- ・利用率は11.1%で、昨年から大きな変化はみられない。
- ・デビットカードを利用する理由は、「家計管理をしやすい(40.3%)」が最も高い。次いで、「残高の範囲内で利用でき、使いすぎないから(39.3%)」、「ポイントがたまる、キャッシュバックがある(34.9%)」が3割を超え続く。

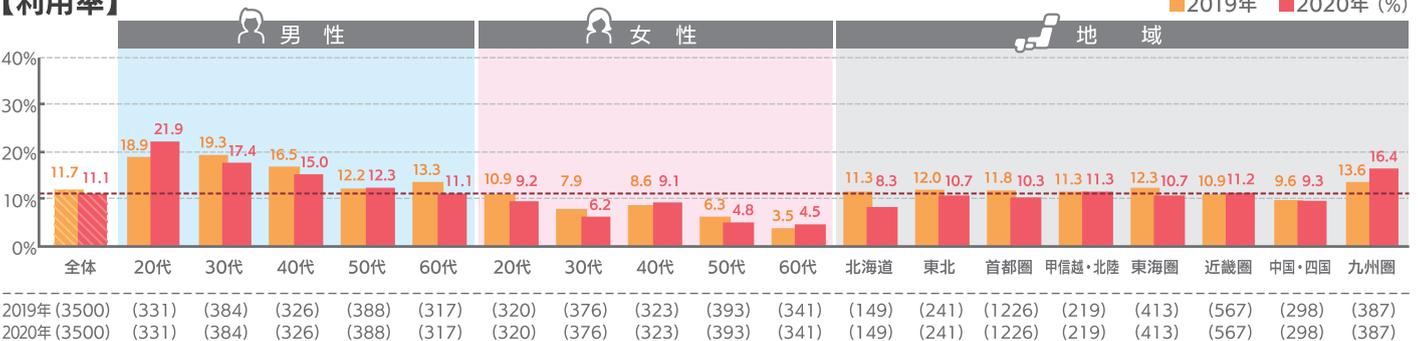
■デビットカード保有率/利用率



【保有率】



【利用率】



■デビットカード利用理由(デビットカード利用者)【2020年】



12. スマホ決済の利用状況

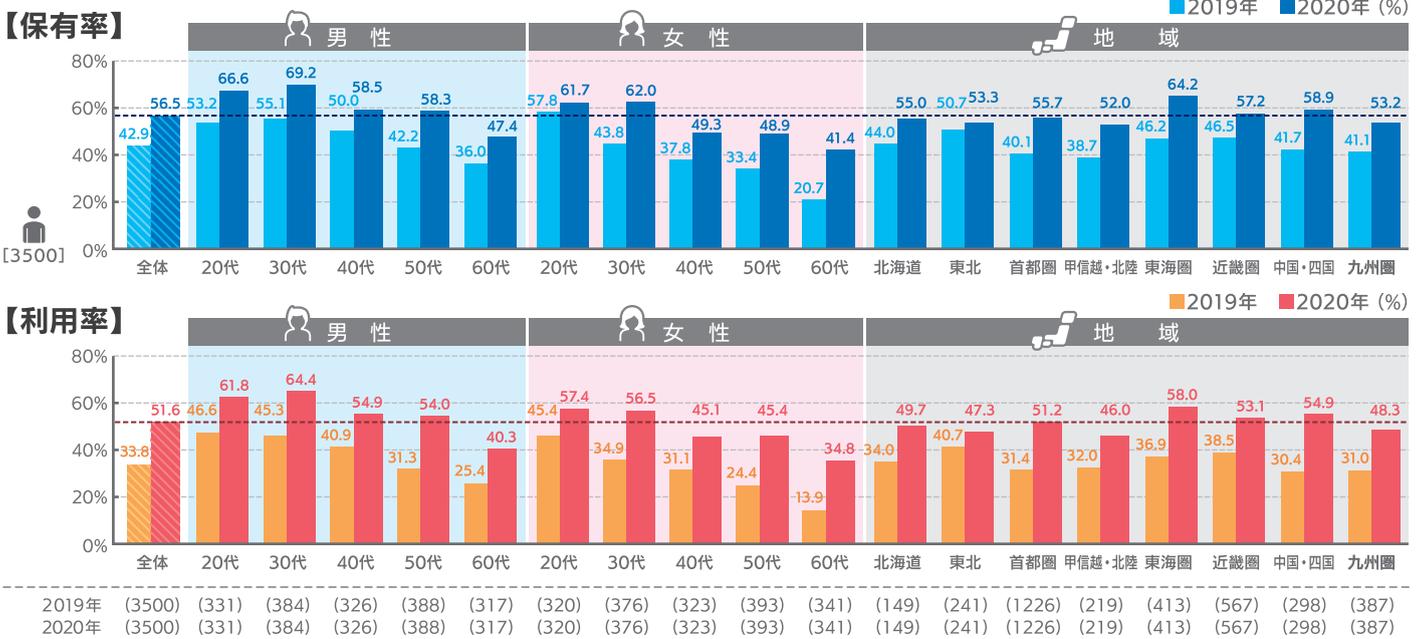


※スマホ決済：スマートフォンやタブレットを用いて支払いをするサービス (Apple Pay、Google Pay、PayPay、LINE Pay、楽天ペイ等)

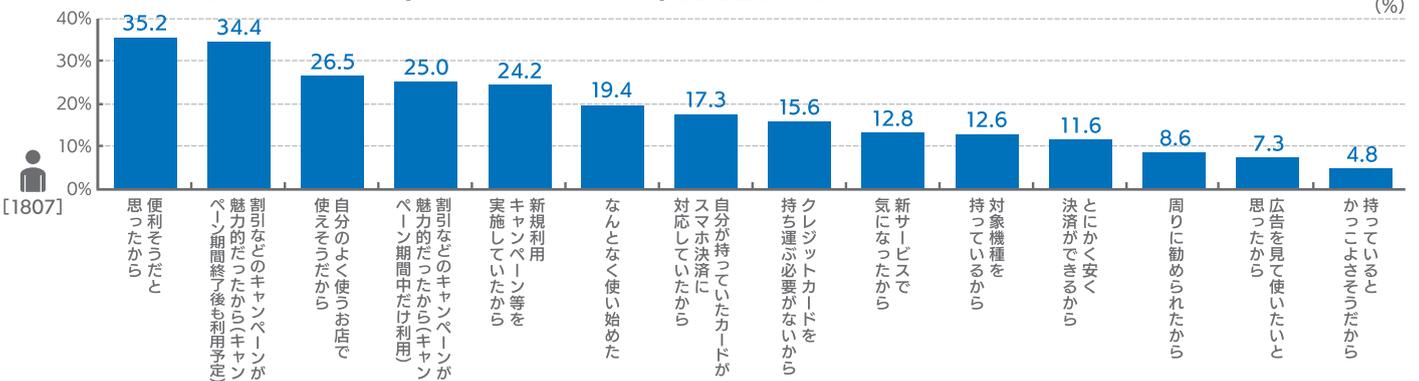
スマホ決済の保有率は56.5%、利用率は51.6%。 主な利用のきっかけは「便利そうだった」、 利用意向理由は「キャンペーンなどを行っているときであればお得」。

- ・スマホ決済の保有率は56.5%。属性別では男性30代の保有率が最も高く、全体的には女性より男性の保有率が高い。
- ・全体の利用率は51.6%で、年代が低いほど利用率が高い。
- ・利用のきっかけは、「便利そうだったから(35.2%)」、「キャンペーンが魅力的(キャンペーン終了後も利用予定)(34.4%)」が高い。
- ・利用意向理由は、「キャンペーンなどを行っているときであればお得だから(お得そうだから)」が49.2%と約半数で高い。

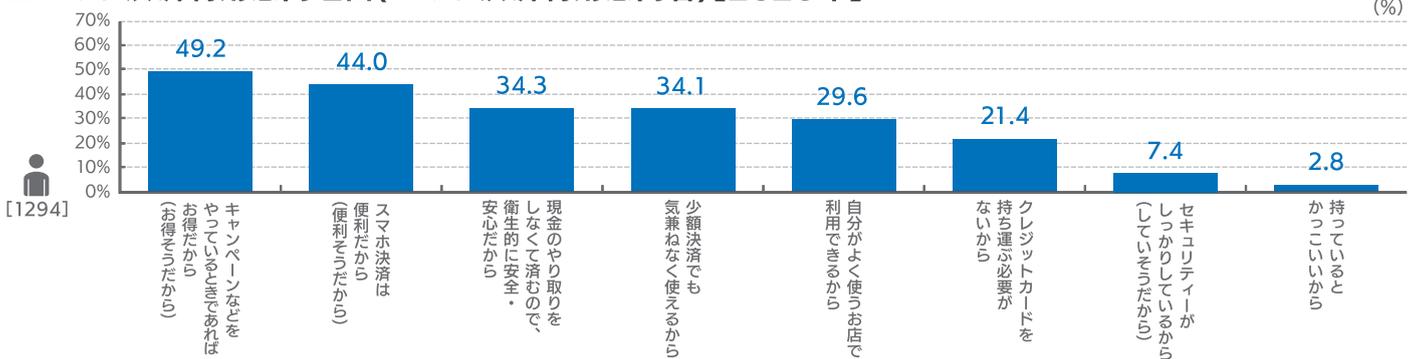
■スマホ決済保有率/利用率



■スマホ決済利用のきっかけ(スマホ決済利用者)【2020年】



■スマホ決済利用意向理由(スマホ決済利用意向者)【2020年】



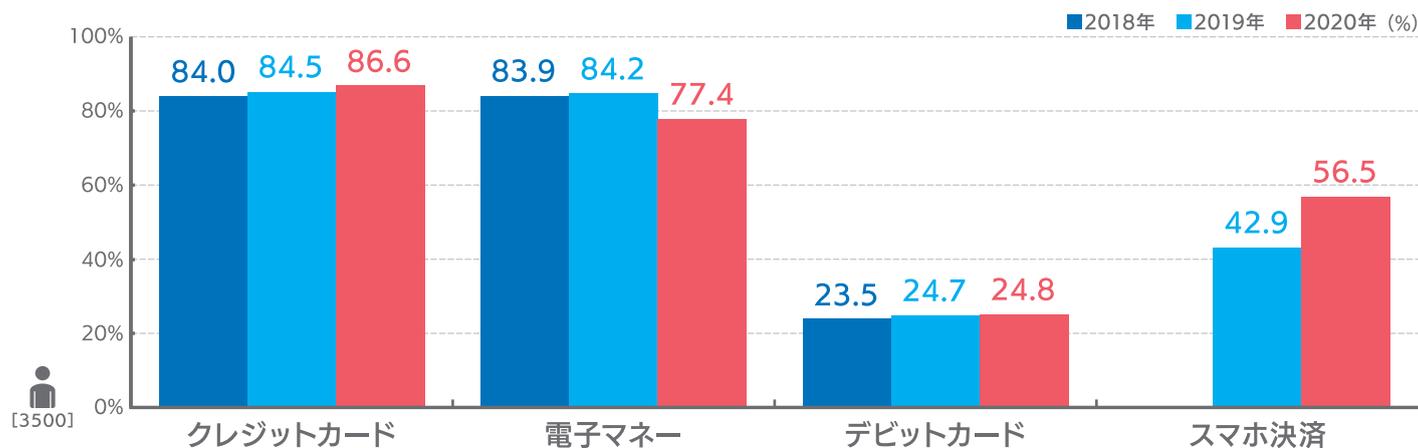
13. キャッシュレスの利用状況



キャッシュレス手段の保有率はクレジットカードが86.6%、電子マネーが77.4%、デビットカードが24.8%、スマホ決済が56.5%。

・キャッシュレス手段の保有率は、それぞれクレジットカードが86.6%、電子マネーが77.4%、デビットカードが24.8%、スマホ決済が56.5%であった。スマホ決済は、昨年から13.6ptの上昇がみられる。

■キャッシュレス手段保有率 ※スマホ決済は2019年から聴取

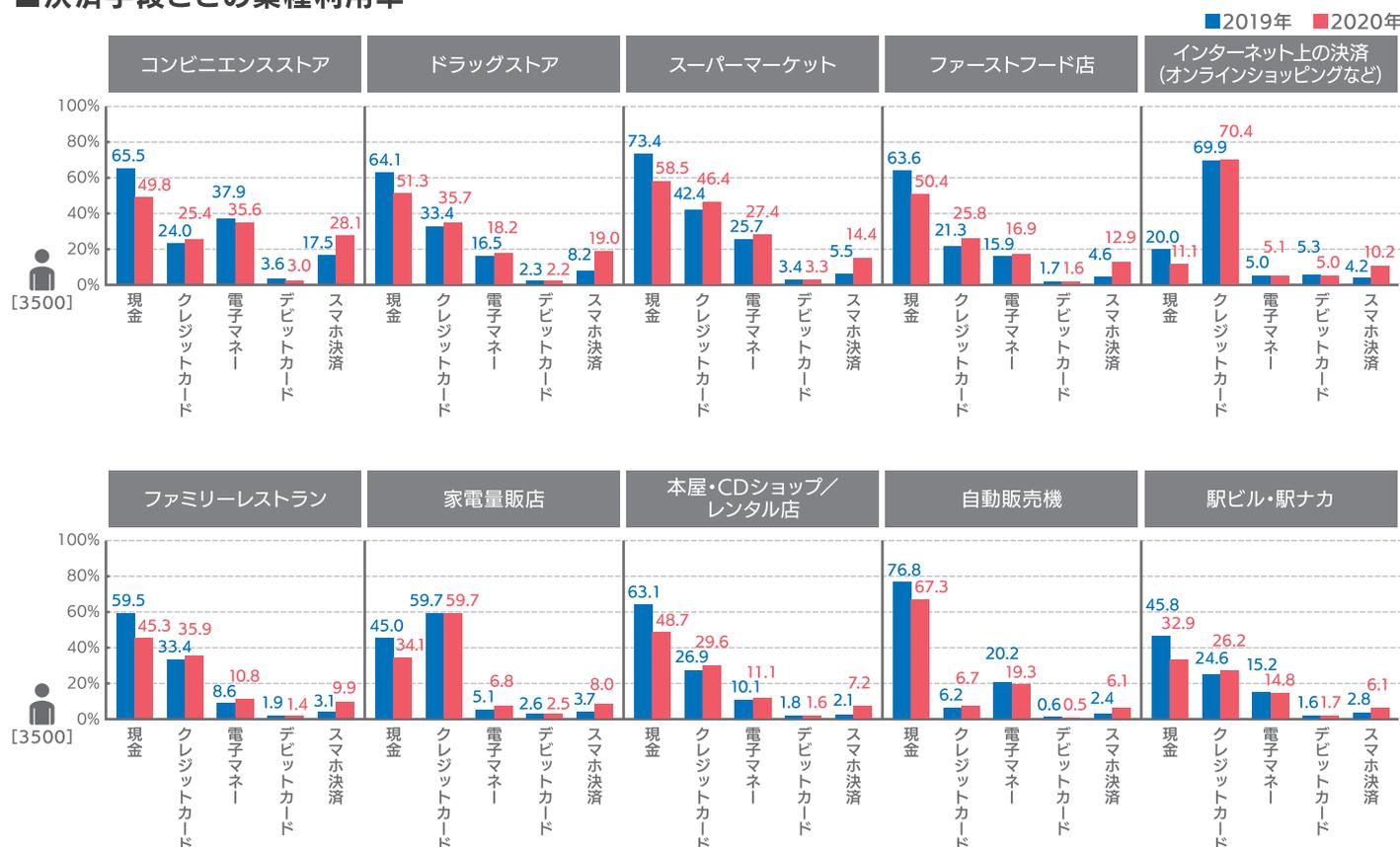


現金の利用率が低下し、主にクレジットカードとスマホ決済の利用率が上昇。

・昨年と比較すると、どの業種においても現金の利用率が大幅に低下し、主にクレジットカードとスマホ決済の利用率が上昇している。

※決済手段は、現金と主なキャッシュレス手段を抜粋
 ※利用業種は、スマホ決済の利用率が高いものから10種抜粋

■決済手段ごとの業種利用率



14. 政府の「キャッシュレス・ポイント還元事業」後のキャッシュレスの利用増加

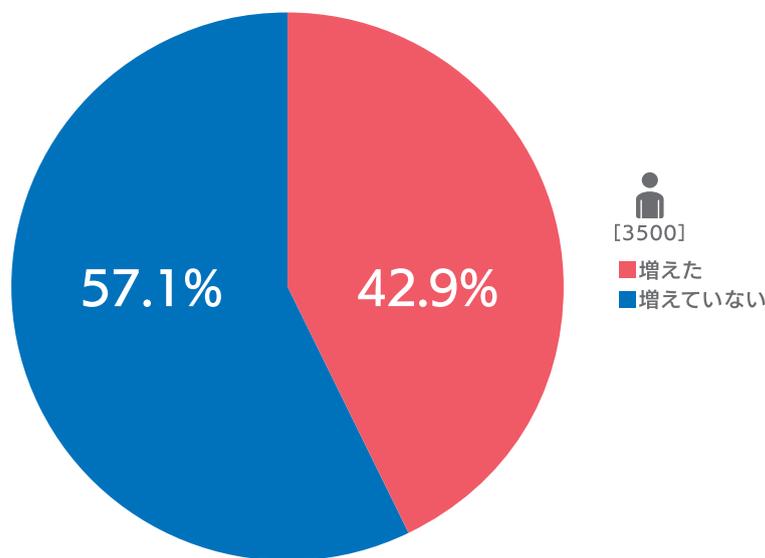
「キャッシュレス・ポイント還元事業※」後のキャッシュレスの利用増加率は42.9%。

※2019年10月1日～2020年6月30日実施。対象の店舗でキャッシュレス決済を行うと、2～5%の還元を受けられる政府の政策

最も利用が増加したのはクレジットカードで65.3%。また、クレジットカードが増加した主な理由は「ポイントやマイルが貯まるから」で69.6%。

- 政府が打ち出した「キャッシュレス・ポイント還元事業」後のキャッシュレス決済の利用増加率は42.9%。
- 「キャッシュレス・ポイント還元事業」後に利用が増加したキャッシュレス決済方法は、クレジットカード(65.3%)が最も高く、スマホ決済(48.8%)、電子マネー(43.4%)が続く。
- グラフの掲載はないが、「キャッシュレス・ポイント還元事業」をきっかけにキャッシュレス手段の利用が増加した主な理由は、クレジットカードが「ポイントやマイルが貯まるから(69.6%)」、デビットカードが「使ってみて便利だったから(59.4%)」、プリペイドカードが「使ってみて便利だったから(53.3%)」、電子マネーが「ポイントやマイルが貯まるから(57.3%)」、スマホ決済が「使ってみて便利だったから(61.4%)」。
- こちらもグラフの掲載はないが、「キャッシュレス・ポイント還元事業」をきっかけにキャッシュレス手段の利用が増えなかった主な理由は「現金払いしかしないから(23.4%)」。

■「キャッシュレス・ポイント還元事業」後のキャッシュレス手段利用増加状況



■「キャッシュレス・ポイント還元事業」後に利用が増加したキャッシュレス手段(キャッシュレス手段利用増加者)

